大正十四年七月二十四日第三種郵便物認可
大正十五年四月二十八日印刷納本　大正十五年五月一日發行

無産階級評論雑誌

大衆

VOL.1　五月號　NO.8

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アルス新刊增版書

大杉榮著
論集 **自由の先驅**
定價貳圓五拾錢　送料拾錢

大杉榮著
論集 **正義を求める心**
定價貳圓　送料八錢

大杉榮著
クロポトキン研究
定價壹圓參拾錢　送料四錢

大杉榮著
日本脱出記
定價壹圓五拾錢　送料六錢

大杉榮
伊藤野枝 著
二人の革命家
定價壹圓五拾錢　送料六錢

ロマン・ローラン
福永渙譯
ガンヂー論
定價壹圓貳拾錢　送料六錢

馬場・森下
佐藤 共著
露西亞文學の理想と現實
定價貳圓五拾錢　送料拾錢

ワイニンゲル著
村上啓夫譯
性と性格
定價貳圓八拾錢　送料拾錢

クロポトキン著
内山賢次譯
倫理學（其起源と發達）
定價貳圓八拾錢　送料拾貳錢

フロイド著
安田德太郎譯
精神分析入門
定價貳圓　送料八錢

東京市小石川區
表町一〇九番地
アルス
電話小石川三五七〇
振替東京二四八八八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

流通經濟講話

法學博士 福田徳三著

『流通經濟講話』は初め著者の名著國民經濟講話完成の直後、即ち大正七年三月に其の緒篇として執筆され、以來幾變遷を經て今日に及んだ。著者は本書序言に於て其の推敲鍛錬の跡を辿り卒直に述べて曰く『(前略)休戰後の歐洲の諸問題、日本經濟界の諸出來事は、一方に於て私の研究に種々新なる暗示を與へたと共に他方に於て從來とても感じて居た理論研究に於ける通論の缺陷を痛感せしめたのであります。殊に流通經濟論の取扱に於ける不滿足は新に展示せられた貨幣、物價、所得、財政に關する戰後經濟の諸問題によりて一層著しく曝露されたのであります。私は幾度か大正七年下篇の流通論に添削を試みてみました。併し愈々刊行に着手しようとの決心をする機會は容易に到來しませんでした、云々。』斯くして漸く本書成るは、是れ實に、多年、本書の爲に熱心なる期待と督促とを送られし讀者諸賢の鞭撻と加護の賜に外ならない。弊閣は本書を以て諸賢の厚情に酬い、同時にまた本邦經濟學界に著大の貢獻をなし得ることを信じて疑はない。幸に清鑒を祈る。

第十二版

四六版一〇六〇頁コロタイプ石版其他三十葉餘菜色リンネル製天金背革張總索引付

定價 六圓五拾錢

送料 十八錢

カール・マルクス研究

ヴヰルブラント著　名古屋高商教授 赤松要譯

◇四六版クロース箱入上製本◇

定價 二圓　送料 十二錢

著者は當時破天荒の一人として身大學教授の地位にありながら、自ら社會主義者なりと公言して憚らなかつた人である。而して社會主義を標榜することが寧ろ立身上便利となつた今日に於ては、著者は却つて其の評論に最も大膽なるものである。此の如き眞に學者らしい學者の全く囚はれざる立場からのマルクス論は我々の先づ聞かんと欲する所である。(福田博士序文の一節)

合資會社

大鐙閣

東京神田今川小路

振替東京三三六一八一番

電話 四谷 四六五八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

エミール・レーデラー教授著

最新刊

理論經濟學概説

帝大助教授 有澤廣巳
帝大助教授 大森義太郎 共譯

菊判洋装三三八頁
定價 貳圓五拾錢
郵税 拾貳錢

學界の權威 世界の名著

最新の經濟原論、原著者レーデラー教授は、現獨逸學界の明星である。其の主著たる本書は世界經濟學界の最高水準を示すものであらう。而して多くの原論に見る如くに、諸學說の單なる拔萃、無味乾燥な羅列ではない。一定の觀點から常に全經濟行程を統一的に書けるものであり、其の點に於て經濟學の研究者に對しても亦少からざる興趣を與へるであらう。更に行論の明快、簡潔なことは本書の價値を一層大ならしむるものである。譯文は、その正確なるは固より、所謂飜譯書と選を異にし極めて平易である。

發行所 東京本郷元町一ノ一七 振替東京六六三一二 明善社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一卷　大衆　第三號

◇五月一日の勞働祭……レーニン（八）

◇ロシア革命の同伴者ピリニヤーク……秋田雨雀（二七）

當面の問題

議會直後の政局……鈴木茂三郎（二）

好望、多難なる組合評議會……高野實（四）

◇組合運動と婦人の問題……山川均（一九）

◇所謂「現實主義」の唯物辯證法的解釋……大山郁夫（二三）

◇左翼小兒病……堺利彦（四四）

◇唯物辯證法斷想……山田盛太郎（六四）

勞働運動

山梨の脱退と日本農民組合……三宅正一（二九）

吾等の志す組合總聯合……坪井專次郎（三三）

共同印刷爭議の眞相……高田幸松（三四）

◇中歐のメーデー……守田有秋（四二）

◇罷業權剝奪爭議調停法……落合友二（六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當面の問題

議會直後の政局

一

謂はゆる坭合戰に終始したる、議會の終了後に於て、大した政局の展開は無いけれども、いかに展開するやは、政友本黨と實業同志會の政治更新聯盟の成立、政友會廓清運動、內閣改造問題の上に、いくらかの方向は窺はれる。

しかも之等の出來事のなかに、後藤新平子の革新運動なるものが織り込まれてゐる。いつの場合でも後藤子が乘り出すと必ずや政局は賑盛を極める。政局ばかりか後藤內相のもとには關東大震災さえ起つた。彼の言ふところの革新とは、政爭の倫理化、極東植民會社、滿蒙特殊地位の擁護、之を三大旗印と言ふ。政爭の倫理化とは、何んの謂れなるやを知らない。惟ふに運動資金を彼に献金し、勞資協調政黨を唱えつゝある電力資本家福澤桃介氏の挨拶の言葉だと聞けば間違ひはなからふが彼の覗ふところは寧ろ他の二たつの上にある。即ち彼を政治的代表者とする資本閥鈴木商店は、臺灣銀行に對する政府の救濟資金融通によつて、辛くも破綻を免れたほどの悲運にある。鈴木商店は對露利權、貿易上優越の位置に居り乍ら、資金缺乏の爲めにいかんとも出來ないでゐる。

シベリアに於ける殖民會社の設立は、會社の發起利得と會社との結托による商業資本利潤を、鈴木商店に與へ、滿蒙特殊地位擁護—滿鐵擁護—によつては、鈴木商店の臺灣に於ける特殊地位—樟腦其他—を、滿鐵に結び滿蒙に延長すること後藤子の覗ふ、革新運動の的はこゝにこそある。

二

坭合戰の議會に於て、政友本黨は大資本閥黨政友會に坭をなげつけて、ひそかに顏を撫でてゐたところ、議會後あかぢが原土地問題の坭を吐かされた。其の上に薩派の某銀行事件の如く、新聞紙法のおかげで公表されないものなどもある。

だがしかし、元來が本黨は、大資本閥の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支持がなく甲州系財閥の一角、(あかぢが原事件の渡邊治右衞門も同財閥に屬する)薩派の財的背景に繋ると雖も(本誌初號のブルジョア諸政黨の資本閥參照)もと〳〵本黨は、多分に地方的地主の利害を代表し、その點では地主黨の色彩が濃厚である。議會の關稅改正案に對し、地主の經濟的利害の爲めに如何に勇敢であつたかは、本黨の經濟的地盤を如實に示したものである。

しかるに、本黨と、小資本家、中產階級の利害を代表せる實業同志會との政治更新聯盟の成立せることは、通俗に解せられてゐるやうに、床次總裁が武藤山治氏の懷中を覗らつたゞけではない。それは地主と都市中產階級の、經濟的利害に基く政治的聯携である。少なくも產業資本家に、農產物の水準價格を維持し得る力なく、農村の資本化―金融資本の土地統制―が現在の狀態にある限り、資本の攻勢ます〳〵猛威を振ふに際し、此の二たつは多くの共通せる利害の上に起たざるを得ない。政治更新聯盟は、かくの如き經濟的條件の反映である。

三

政友會の內訌―廓淸運動は、田中總裁の諒解と茶宴によつて消滅したほど、爾く他愛も無いものではあつた。他愛ない騷動のなかに、現在の諸政黨內部に於けるからくりの、一端だけでも暴露してくれた事は、僕等にとつてはもつけの幸と言はねばならない。

內部のからくりとは何にか、黨代議士より一文も黨費を徵收せず、闇の手から運ばれ、從つて收支の公表が出來ない金ばかりであること、黨の最高機關なる總務委員は、黨の中樞ではなく、總裁又は何んだか分らないものの手に、絕對の權威が握られてゐること、幹部の任命は、國民の選良と稱する黨代議士會の選擧によつて行はれること無く、右の少數者の獨裁であること、等々である。

これらの事實は、資本閥の政黨支配―統制形式―の一端を現してゐる。黨內部の、群小資本家の利害の反噬、資本閥代表少數獨裁者の政治的失敗、等により、政黨統制權に弛みを生ずるに於ては、今回の如き廓淸運動は、今後いづれの政黨にもおこることがらである。

四

新聞紙の傳ふるところによると、議會後に行はれるだらふと豫想された內閣改造は當分しないらしい。恐らくはさうであらふ。

憲政會(三菱財閥其他)によれば、その政權擁護の上に、政友、政本の合同聯携のくさびが斷たれた今日、政本黨に閣員の椅子を割ひてまで、御機嫌を伺ふ必要はなく、すゝんでは來議會に、議會解散を行ふ覺悟さえある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

従つて憲政會内閣の恐れる點は、衆議院ではなく、鬼門貴族院にある。貴族院の大政黨研究會の向背如何にある。

研究會の經濟的地盤は、樣々の復雜した關係にはあるが、政黨中立の各資本閥の力が強いだけに、普偏不黨―實は萬年政府黨―の政治的標語を掲げてゐる。しかし、だからと云つて、平民で無いだけに始末の悪るいことには、いつでも酒代の強請をなす悪癖がある。

大臣の椅子、くだつては政務官、特殊銀行會社重役、利權等酒代の種別には種々あるが、ともかく「特別代償」無しには、普偏不黨の標語の陰にかくれて、悪戯をなすが常である。

故に、憲政會内閣は、内閣の一角を割ひて、大臣の椅子を、研究會に贈物とせざる限り、安心してはやつて行けない。

内閣改造の理由はそこにある。それ故に急いで改造しなければならぬほどの必要はない。研究會の都合もあらふ。秋の贈答期節を待つて行ふも遅くはあるまいと思はれる。

五

鈴木商店と電力資本家の躍動、地主と中産階級の聯携、資本閥又は小資本家の抗爭(政友會の内亂)三井財閥其他の政權擁護――議會直後の一ヶ月、政局には之等の事實が反映された。其れは、謂ふところの經濟界の行き詰りを示す資本家階級の苦悶の諸相である。しかして、此の機に於ける資本閥個々の重要な問題は、政權をとほして國家財政により多く依存し、又は國法の保護により多く依存することこれである。

即ち先づ政權へ彼等の苦悶の諸相が悪化すればするほど、政局は多事多端なるにいたるであらふ。(鈴木茂三郎)

好望・多難なる勞働組合評議會

―第二回全國大會を評す―

一

日本勞働組合評議會第二回全國大會は去る四月十一日から三日間東京に開かれた。組合評議會は總同盟から分離して以來、漸く一ヶ年を經過したに過ぎないが兎にも角にも、我國勞働運動界の一方の雄であり、且つ、左翼的大衆團體の唯一の代表である點に於て、一層、この第二回全國大會は色々な意味から注目さるべきものである。

組合評議會は、農勞黨の禁壓に依て左翼派の大なる失策とそれから來た新しき沈滯に對應するために、去る一月下旬、擴大中央委員會を興して、逆宣傳と苦境を打開せんと試みて、見事に所期の目的だけは達成したかに見えたので、今回の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大會は正に擴大中央委員會の延長であり過去一ヶ年の總決算と擴大中央委員會後の收穫の實績を表明するための大會であつた。されば擴大中央委員會に於て、過去の過誤に對する充分な認識が各種の討論に現はされたものであつたが、今回の大會は、更に、一層深化し純化されて、この過誤が補正を爲さるべきものであつたと思はれる。

二

組合評議會過去一ヶ年の第一の特質は凡ゆる點に於て進取的、積極的政策を以て一貫して來たことであつた。これは勿論、分裂の餘勢に依る元氣であつたばかりではなくて、我國の一般情勢がそれ程に多事多難であり、種々なる劃時代的機會に豐富であつたことにも依るものであつたのは言ふまでもない。けれ共、それにしても組合評議會は他組合を凌いで自働的進取的態度を現はした。例へば、大なる失策を背負つた政黨問題に於ても、その單一政黨たること、共同戰線黨たること、從つてその組織と綱領の性質を明かに無產大衆に認識させた如きは、第二回全國大會の總聯合問題で鍋山氏が端なくも高らかに誇りえただけの功績は認めることが出來る。また組織事業に於てもよく工場委員會や共濟組合等の活用に依て、大產業並に處女地の積極的開拓の如き、中央部の活動のみならず、未組織組織並に教育事業に於ても相當の結果をえたことは、誠にこの積極政策に依るものであつたことを認めざるを得ない。

けれ共、また同時に、この積極政策は一面、焦燥なる一部分のために、過度の無理と自信を以て、救ひ難き失敗の幾多の原因を生み出すに至つた。而して、この過誤は擴大中央委員會前後、特に東京方面に於て一般的討論が交はされ、擴大中央委員會の空氣を支配して居たのであつたが、今度の大會にはそれが充分に討議にも一般的空氣にも現はされず、本部から提出されたテーゼに於ても、自己批判の更に深き回顧も新方針の明確な指示も、その草案には缺けるところ多々あつたのである。テーゼ特別委員會は、その理由から本部に撤回を希望し、新中央委員會に一任となつて可決された如きは、更に深刻なる自己批判の必要と一部の焦燥な部分の一層の反省を要求しなくてはならないことを示したものであつた。

三

評議會の數量的發展は何と言つても偉大なものがあつた。當初三十二組合七地方評議會三府六縣、一萬三千六百二十五人に過ぎなかつたものが、一躍して（二月末現在）四十六組合八評議會、一道三府十三縣にまたがり、三萬二千三百九十二人となるに至つた。斯くの如き激增は東北、北海道、東海道、北陸、中部等各

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地重要產業地を新たに獲得したことに依る。しかもこれら地方組合は量質共に中央のそれと匹する訓練をもつてることは幾多の大爭議や政治運動に於て證明されたところで組合評議會の積極的組織事業（それは必ずしも計劃的なそれでなかつた場合が多かつたのではあるが）からこれが成功を收めたものであつた。また增大の約四割一分は出版產業で、これは共同印刷、日清、秀英等の東京方面のものと大阪に於ける出版產業工場代表者會議等に依るものが、主要であつたが、第二位を占むる木材產業並に第三位纖維產業は主として地方的に獲得されたものであり、交通電氣は最低位を占めて僅かに、八九百の增大を見たに過ぎなかつた。

組合の必要に對する理解が全國各地に擴大し、日常鬪爭團體としての組合が直接勞働者の利益に役立つことを示すもので、組合評議會がこれら未組織地方に着目したのと、產業別協議會、工場委員會共濟組合、或は工場代表者會議等の活用は、僅か一ヶ年に約二萬の組合員を增大させ、二倍半に達する原因を造つた。更に、今大會に於ては、婦人部設置非設置が第二日目の一大論爭を惹起したがこれも畢竟擴大なる未組織部分纖維產業の組織事業に如何なる方策を拂つて進むべきかの具體的意見が、たまたま婦人部問題に絡んだまでであつて、婦人並に紡績勞働に關する他の四議案と共にこの大會の重要な部分を占めたものであつた。

不幸、大會に於ては十五名の特別委員會に附せられたまゝ決定を見なかつたがその未決定はまたそれだけ重大な意義をそれに認めた結果であつたと云はねばならぬ。

爭議に於ても百九件中七十件の勝利を數へ、七日以上の爭議は四十四件に達し共同印刷大爭議をよく五十餘日支持した如き、參加人員も一萬四千餘人を算し、資本攻勢と官憲の彈壓と共產黨一派の中傷讒誣にも拘らず、この成績を得た如きは、野田議長の拶挨にもあつた樣に、誠に勞働組合として押しも押されもしないものたることを示して餘りあるものであつた。

四

共同戰線の現下の重要性は屢々强調され、擴大中央委員會に於ても、政黨問題總聯合問題、國際代表選出其他に現はれたが、組合評議會の積極政策は、屢々結局、共同戰線を破棄し、自決せざるをえざらしめたことは（政黨問題に於て、或は川崎爭議其他の爭議に於て、また失業反對運動の失敗の如き）極めて殘念な失策となり、左翼的大衆を窮地に陥入れたものであつた。この過誤は、部分的なものであり技術的なものであつたにしろ、右翼派と官憲に惡意に利用され、今日の重大な危機を惹起した以上、それは單なる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

小過失だといふのは强辯に過ぎないものである。吾々は右翼派並に官憲からの種々なる妨害で常に自決を餘義なくさせられるならば、無產大衆の信認を博しこれを指導するは不可能となるであらふ。

政黨問題に關して、大會は黨中央委員會の好意的理解に依て速かに正式加盟を要求して居る。けれ共、今日の勞農黨は恐らく當分の間は寧ろ意識的に左翼派排除の態度を持するであらうがそれにも拘らず、更に大なる忍耐と犧牲とを支拂つて、吾等が勝ち得たる名譽ある單一大衆政黨をして、眞に無產大衆の期待に反かざらしめることを要求されて居る。これが對策は全く公然の討議に附せらるべきものでもないから、最も政治鬪爭に熱誠をもつ一般組合員に滿足を與へつゝ、黨を活動に導く重大問題は殘されて居る。

また、今年中には何とか目鼻をつけねばならぬ總聯合問題に於て、擴大中央委員會の方針に更に七個の新提案が附加された。具體的な構成や會費や評議會の進退の決議は、今大會には不必要だとの議論が出た。しかし、大會は單一政黨の主張の功績と同樣、具體的目標の指示の重要から原案通り可決された。

大會は、テーゼ問題でも、三時間に亘る大論戰の婦人部問題にしても、また總聯合の討論にしても、全體を通じて感ぜられた愉快は、實に、生氣潑溂たる理論的討論の自由になされたこと、何處までも運動全體から新鮮な方策を盛り樹てゝゆく決意が如實に現はれたことであつた

斯くて、今日に於ける左翼的大衆團體の唯一の代表たる組合評議會の更に大いに伸びんとする彈力性も屈伸性も、この愉快なる徹底的討議に依て始めて得らるゝことを思はずには居られない。

五

今や、農民組合の一部脫退とその右翼派農民組合の豫想さるゝ增大とに依て、感ぜらるゝ幾多の危惧と一般的逆宣傳とを克服しまさに來らんとする總聯合並に勞農黨の活動化とに周到なる政策を持つことに依て、左翼の困難を速かに打開しこの一大轉期に善處し、更に一層廣汎な新分野に於てまた更に難澁なる官憲及資本の猛襲によく對應して、我國無產大衆全體を指導する重荷は、實に、組合評議會の新中央委員諸氏の双肩に掛るであらう。而して、新中央委員の顏觸れは、それをよく爲し遂げるであらうことを信ずる。

吾々は過去一ヶ年の實績に對する期待と興味を以て第二回大會を迎へたのであつたが、今また同樣の期待と信賴を以て見事な屈伸と進展とを期待することの出來るのを喜ぶものである。

（高　野）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五月一日勞働祭

レーニン

同志よ、我々が生活してゐる周圍の狀勢を注意深く觀察して、我々は何を見るであらうか。我々は一生懸命に働らいて、金や織物や綾錦を作り、地中から鐵、石炭を掘り出し、機械を造り、船舶、殿堂、鐵道を建造して無限の富を生產してゐる。全世界の富は我々の手で血と汗とを以て築き上げたものである。我々はこの勞苦に對して如何なる報酬を得てゐるであらうか。我々は好い家に住み、綺麗な着物を着、美味い食物を喰つて生活すべきでなからうか、さうでないまでもパンに困るといふやうなことがないのが本當である。だが我々の全てが知つてゐるやうに、我々の賃銀はヤツと生きてゆけるといふ程度のものである。工場主は賃銀の値下を斷行し、時間外勞働を强制し、不合理に罰金を課してゐる。卽ち工場主は我々を虐めてゐる。我々がそれに不服を唱へれば直ちに解雇するのである。

我々が援助を求めた者は全て工場主の召使であり同僚であつたことを、我々は多くの經驗によつて知つてゐる。彼等は我々が自己の生活狀態を改善する爲に鬪爭するといふことがないやうに、我々勞働者に知識を與へず、無智に縛りつけてゐる。我々を奴隸として縛りつけておく爲に、壓迫に反抗した者は誰でも仕事を奪つて放逐しまたは捕縛して、我々が鬪爭することを禁じてゐる。資本家及彼等に凡ゆる便宜を與へる政府は、我々を壓迫し續けて行く手段として、我々の無智と不自由を利してゐる。自己の生活狀態を改善し、勞働賃銀を增加し、勞働時間を短縮し、侮蔑を防止し、理智的な書物を讀むやうになるのに、我

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

々は如何なる手段を有してゐるだらうか。全てのものは我々に背いてゐる、――工場主は我々の生活が惡ければ惡い程好い生活が出來、彼等の召使共及び彼等の贈物で喰つてゐる連中は、全て我々が無智と不自由でゐる方が都合が好いのである。我々は自分自身に期待するより外に、何處からも援助を期待することは出來ない。

我々の力は團結であり、我々の手段は友愛的な同一精神で工場主に頑強に反抗することである。工場主等は我々の力が何であるかを熟知してゐるから、我々の力を分散することに努め、勞働者の利害は一つであることを我々が理解しないやうに努力してゐる。彼等は賃銀の値下げをする。然し一度にはやらないで徐々にやる。即ち從來の支拂方法を廢して單價支拂にし、我々の兄弟が勞力を使ひ切らすのを心好げに眺めながら、ソロ〱と賃銀の値下げを實行して行くのである。だが誰もが滿足してゐる譯ではない！ 誰れでも勘忍袋の緖は切れるものだ。去年ロシアの勞働者は、自己の工場主達に、柔順な奴隷が、無報酬勞働さへ强ひ兼ねない資本家の横暴に蹶起して勇敢に鬪爭する人間になつたことを示した。ヤロスラブリ、テイコブ、イワノワ・ワズネセンスク、ベロストーク、ウイリノ、ミンスク、キエフ、モスクワ其他の諸都市に於てストライキが勃發した。ストライキの多くは勞働者の敗北に終つた。然しストライキの敗北は表面的な敗北である。實際に於ては工場主を驚かせ、工場主に多くの損失を與へ、そして新らしいストライキの恐怖の前に彼等をして讓步せざるを得ざらしめた。工場監督官等も工場主等の困却するのを見て奔走し出した。勞働者がストライキをやつて彼等の眼を開いてやらない中は、彼等は盲目でゐるのである。工場監督官等はトルントン又はプチロフスキー工場の株主達の如き勢力家の工場に於てその缺陷を指摘したことがあるか。これに反し我々はペテルブルグで多くの工場主達を惱ましてゐる。トルントンに於ける紡績工のストライキ、ラフエルマに於ける煙草勞働者のストライキ、ベベテワに於ける紡績工のストライキ、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

機械製靴工場のストライキ、ケエング、ワローニン及諸港灣に於ける勞働者の奮起等々は、我々が不甲斐ない殉教者でなくなつて、闘爭するために起つたことを示してゐる。諸君等も知らるる如く、多數の諸工場の勞働者は、全ての横恣を暴露し、缺陷を根絕し、冷酷な搾取者（工場主）の壓迫と壓制とに向つて闘爭し、以て彼等の支配から完全に解放される目的を以て、勞働階級解放の闘爭同盟を組織してゐる。同盟が配布するビラに對して、工場主及その召使共は戰慄を感じてゐる。彼等にして見れば、ビラは左程恐ろしくはないが、我々が今まで現はさなかつた我々の威力を現はして、協力して我々が反抗する可能性のあるのを恐れてゐるのである。ペテルブルグの勞働者であり且つ同盟員である我々は、勞働者が團結して自己の利益の爲に闘爭するといふ偉大なる事業を援助する爲に、他の全ての同志が我が同盟に加入せんことを要める。今や資本家及政府が何時迄も我々を壓迫してをかうとして縛りつけた鎖を斷ち切る時であり『萬國の勞働者團結せよ！』の旗の下に他國の兄弟――勞働者と團結すべき時である。

フランス、イギリス、ドイツその他の如く、勞働者が有力な團體を組織してゐる所では、勞働者は多くの權利を獲得してゐて、四月十九日（外國暦では五月一日）に廣汎な勞働祭を擧行するのである。

彼等は息苦しい工場を捨てゝ、旗及び樂隊と共に大行列を組んで、都會の大通りに現はれ、工場主等にその延び行く力を示すのである。彼等は多數の人を以て埋めた會合を開催し、過ぐる年に工場主から獲ち得た勝利を點檢し、將來の闘爭の計畫に就て演說するのである。

工場主はストライキを恐れて、この日工場に現はれなかつた勞働者に罰金を課しはしない。勞働者はこの日工場主等をして『八時間勞働、八時間睡眠、八時間休息の、八時間勞働制』といふやうな重要な要求を勞働者がもつてゐることを記憶せしめるのである。他國の勞働者は現在斯かる要求をしてゐるのである。彼等も極く最近までは、現在の我々のやうに自己の缺陷に就て何にも言ひ得ず、また現在の我々のや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うに缺乏と分散とによつて壓迫されてゐた。然し勞働問題を協力して審議するといふ權利は、彼等が頑强な鬪爭と多大なる犧牲を拂つて捷ち得たのである。我々は他國の兄弟が、貴族と奴隷、勞働者と資本家といふものが無く、皆なが同樣に勞働し同樣に賢明な生活をする時が來るやう、速かに望ましい勝利を得らるゝことを希望する。

同志よ！　我々が一致協力して活動し、我々の陣列を固めたならば、種族、信仰を超越して全世界の勞働者が全世界の資本家に反抗して起つこの一般的鬪爭に、我々が大手を振つて參加し得るのもさう遠い將來ではあるまい。そして我々は不自由の鎖を斷ち切つて、敢然と起ち上るであらう。ロシアの勞働民衆は起つて資本家及び全ての勞働階級の敵を戰慄せしめるであらう。

勞働階級解放鬪爭同盟

一八九六年四月十九日

以上に譯出せるビラはレーニンが一八九六年に監獄から書いて寄越したものである。このビラは蒟蒻版で二千部刷られてペテルブルグ市の四十の工場に撒布された。このビラがペテルブルグの勞働者の自覺を促がしたのは偉大なものであつた。このビラが配布されてから一ケ月後には一八九六年の著名なストライキが起つてゐた。一ケ月半後に起つた紡績工の二つのストライキはこのメーデーのビラの影響で却々頑强であつた。そして之等のストライキを通じて認められることはストライキの起つた工場は偶然にもこのビラが廣く讀まれた處であつた。またその時代の勞働者で彼等に團結の衝動を與へたのはこのビラであると多くの勞働者が語つてゐた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所謂「現實主義」の唯物辯證法的解釋

大山郁夫

一

久しく待たれてゐた無產政黨が、異常な產みの苦しみの後に、漸く勞働農民黨の名の下にこの世の光を見たとき、それの歡迎に熱中しゐた我國の無產階級の眼の前には、既に新たな一難局が充分に明確な形に釀もし出されてゐたのが見出された。かういへば、多少とも無產階級運動に關心してゐる人々には、それが無產階級の陣營內に於ける分裂的傾向の深刻化的現象を意味してゐるものであることが、容易に察知し得られるであらう。

それは階級戰の現勢の下に於て、無產階級の立場から見て、非常に悲痛な事態を現出せしめたものである。即ち我國のブルジョアジーが、その內部に割據する諸集團の各自の間の利害關係の相剋を超越して、無產階級の擡頭の前に一齊にその全勢力を糾合して、露骨に共同的攻勢に出て來てゐる今日に際して、無產階級の陣列の上にそのやうな混亂が生じて來たことは、縱しその責任がどこに歸着するものであらうとも、それを單なる一事實として見ただけで、無產階級意識に於て何としても堪へられないことである。それは言ふまでもなく、かうした狀勢の存續が一日も長ければ長いだけ、それだけ多く無產階級の戰鬪力が不當に減殺されて行く譯だからである。

更らにまた、この呪はしい傾向と相互的に因果關係をなしつつ、「現實主義」の叫びが、無產階級の陣營の一方から、盛

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

んに擧げられるやうにもなつて來た。それは、無產階級運動の當面の戰術を、社會關係の『現實』に適應せしめよといふ要求を要約してゐるものとして揭げられてゐるものであつて、ちよつと聞きには、一應尤もらしく響くものである。けれども實際上に於ては、その『現實』とは一體何を指してゐるものであるかが、さう簡單明瞭に把握し得られるものではないのである。もとより、その『現實』とは、現在當面の社會關係の上に存してゐるそれを指すものだといふやうに概括的に說明されてゐるのが普通である。が、しかしその場合に於ても、その現在當面の社會關係そのものが極度に錯綜した諸關係の複合である以上、それのどの一面を特に注視してゐるかによつて、それの解釋の上にそれぞれの差異が生じて來ない譯に行かないのである。だが、今假りに一步を讓つて、その『現實』とは、さうした諸關係の複合の全部の上に存するそれを指すものだといふやうな說明を我々に於て承認するにしても、しかも、尙ほ、それが如何なる立場から見られた現實であるかに依つて、それに對する見解が自ら異つて來る契機が存してゐるのである。詳しくいへば無產階級中の何づれかの一特殊團體の立場は、全無產階級の立場と同列の上に存するといふ意味に於て、それと相互的に關聯してゐるものであるといふことは事實だが、しかし同時に、その特殊團體が置かれてゐる地位によつて、その團體に獨特の立場といふものがあつて、そしてそれが必ずしも全無產階級の立場と全然一致するものとは限らない場合がある。從つて、甲の立場から見た『現實』といふものと、乙の立場から見た『現實』といふものとの間に、多少の認識上の喰ひ違ひがあるといふやうなことも、全然起り得ないことだとはいへないのである。これは大抵の場合、同じ對象を見るにしても、それを見る立場の異るに從つて、視點のおきどころが異つて來る、といふことから來るものである。

だが、今議論の便宜上、兩方の立場から見た『現實』の認識が全然一致した場合を假定しても、その場合でも、その認識から出發せしめられた行動原理といふ意味での『現實主義』となると、非常に相異したものになるといふやうなことは、一層屢々起り得る可能性のあることでもあり、また事實上常に起つて來たことでもある。それは根本に於ては、或る無產團體の團體意識——屢々『團體利己心』の形で現はれるところの——と、全無產階級意識とが、必ずしも全然一致するも

のとは限らない、といふ事實から來るものである。

かう考へて來ると、一般に非常に簡單明瞭なものと見られてゐる所謂「現實主義」の問題も、實は意外に複雑曖昧なものを含んでゐるものとして觀念することも出來るのである。

二

現在の我國の無産階級全體の立場から見れば、ブルジョアジー側から詰め寄せて來てゐる攻勢といふものほど、痛切な現實はない。そこには資本家と地主との區別もなければ、そこにはまた官僚と政黨との、若しくは、自由主義者と反動主義者との分界線もなく、すべてが一團塊となつて、一齊に無産階級の陣營に向つて殺到して來る。更らにまた、その攻勢の形態にしても、必ずしも積極的壓迫の手で來るばかりでなく、場合に於て、懷柔、誘惑、買收などの手段に依る切崩し政策で來ることもある。かうした現實に直面せしめられてゐる無産階級全體の立場からいへば、進撃的にその現實を征服するか若しくは退嬰的にその現實に征服されるのを待つかの二途しかないのである。同じ不安不衡狀態の永久的存續といふやうなことは、かうした情勢の下に於ては、全然考へ得られないことである。

ところが、同じ無産階級の陣營内にあつても、かうした情勢の下に於て、支配階級の政策に迎合したり、その頤使に甘んじたりすることに依つて、當面の小利益を獲得することが出來る地位におかれてあると言つたやうな、或る特殊的な立場にある無産團體が存しないとは限らない。無論、さうしたことは、彼等が支配階級の攻勢の下におかれてある他のあらゆる無産諸團體を出し拔いで行動するのでなければ出來ないことではあり、しかもさうした行動は無産階級意識から絶對に否認されるものであることは無論だが、しかし彼等は、屢々團體利己心を無産階級意識の先きに立てて、その行動に出ることを決心するやうな誘惑の手に乘ることがないとは保證が出來ないのである。更らにまた、彼等がその誘惑の手に乘つたために、他の無産諸團體の陣地のすべてが慘敗に陷つた曉には、結局、支配階級の攻勢の手が直接に彼等の上に及ぶことになるのが必然の歸結であるから、彼等が苟くも深謀遠慮の命令に聽從する限りは、決してさうした行動に出る氣遣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ひはない筈だが、しかし實際上に於ては、目前の小利に對する彼等の執着が、彼等の洞察力を晦ますやうなことは、始終ありがちなことである。そして、さうした場合には、彼等は例の『現實主義』の名で彼等の裏切り的行動を粉飾しようとするやうになる强い傾向に支配されるやうにならないとも限らないのである。

かういふ場合には、彼等が見た『現實』は、全無產階級の立場から見たそれでなく、また彼等の團體利已心から迸つて出た『現實主義』は、無產階級意識が肯定するそれでもなく、從つてその原因から生じた無產階級の陣營内の分裂は團體利已心と無產階級意識との衝突からその端を發したものであることが、一目瞭然である。それ故、この場合には、無產階級的な行動としからざるものとを區別することは、誰れにでも極めて容易に出來ることである。けれども、一見その場合に甚だよく似た外觀を呈してゐながら、實は本質的にそれとは相異してゐるところから、無產階級的な行動と、しからざるものとの間の分界線を劃するためには、特別に精細に考慮された標準を必要とする場合が別にある。で、私は次に、しばらく、その問題に觸れてみたいのである。

三

無產階級運動は、それが眞に無產階級運動である限り、無產階級の徹底的解放をし——若しくは無產階級を無產階級でなくする（aufheben）ことを——それの終極目標とするものである。それは、無產階級理論に於て、無產階級の歷史的使命と、普通に呼ばれてゐるものである。そして、この歷史的使命は、何等の根據もなしに勝手に斷定されたものでなく、社會的生產關係に於ける無產階級の實在（rein）そのものから、無產階級理論の基礎である唯物的辯證法的思惟過程を通じて到達された結論である。それ故に、その唯物的辯證法的思惟過程が無產階級意識と不可分的に結びつけられて存する活きた實在である限り、右の歷史的使命もまた、無產階級的意識の上に活きて實在する一の『現實』である。

それと同時に、無產階級運動がそれの終極目標に向つて進められるとき、その途上に於て、多種多樣の難關とか障碍とかに遮ぎられざるを得ないこともまた、避けられないそれの運命である。しかも、それらの難關及び障碍のうちには、支

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

配階級からの手を替へ品を替へての攻勢といふものまでが算へられる。無產階級運動がそれの終極目標に向つて行進を續ける途上で、個々の場合に於て、かうした豫測の出來る――若しくは豫測さへも出來ない――やうな、考へ得られる限りの難局に遭遇する每にその時々に轉換してゆく眼前の形勢に適應するための臨機的策戰を講究しなければならない必要を持つといふこともまた、一の悲痛なる現實である。

そこで、無產階級運動が眞に無產階級的であることのためには、それ自身の終極目標から眼を離してはならないと同時にそれがその終極目標への行進を確實にするためには、個々の場合に於ける策戰を閑却してはならないのである。かういふ譯で、無產階級運動に於ては、それの終極目標と個々の場合の策戰との間にもまた、一種の辯證法的統一が存しなければならないことになるのである。だが、時としては、同じ無產階級運動の列上に於て、それの或る一派が特に終極目標への着眼を强調するに反して、他の或る一派が特に個々の場合のための策戰を重要視することを主張するために、そのことから延いて無產階級の陣營內に於ける或る程度の分裂が釀し出される、といふやうな場合が、決して稀れにでなく起るものである。そして『現實主義』を中心とする爭ひは、かうした場合にも繰り返されるのが普通である。

かういふ場合に於て、それのいづれの態度が、より無產階級的かといふ問題を決定することは、非常に困難なことであるやうに見える。卽ち、無產階級運動の目標を熱心に凝視することは、單にそのことだけから見れば、無產階級的であることは無論だが、しかし個々の場合に於ける策戰の閑却は、時としては、實際上その終極目標への行進を跡戾りさせる危險に導くことがあり勝ちである。が、それに反して、個々の場合の策戰に熱中するものも、それが終極目標への接近を一步でも進めることを意識しての上であれば、それは決して非無產階級的だといふ譯には行かないのである。

だとすると、さうした場合には、いづれが無產階級的であるかを決定する標準を探究することは、畢竟絕望に終るべきものであらうか？ そんなことのある筈がない。若し無產階級理論が、さうした根本的重要性のある問題に關して何等標準を與へ得ないものとすると、それは最早無產階級理論としての存立の根據を失つてゐなければならない筈のものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

だが無産階級理論は無産階級理論として、儼然とその存立を保持してゐる。だとすると、右の標準は何であるか？

この問ひに對する無産階級理論の答へは、甚だ簡單明瞭である。卽ちそれは、無産階級意識そのものである。だが、その無産階級意識は、(『神聖家族』の中のマルクスの言葉を借りていふと、)『その――若しくはこの――プロレタリアーが、それどころでなく全プロレタリアートが、或る時點に於て目標として掲げて居るものに繋がつてゐるものではない。それは實に、プロレタリアーの全存在(was sie ist)に繋がつてゐるものであり、從つてプロレタリアートがその全存在のために、歴史的になし遂げなければならないやうに强要されてゐるものに繋がつてゐるものである。』換言すれば、それはプロレタリアートの歴史的使命から不可抗的に流れ出てゐるものである。マルクス、エンゲルスが、萬國のプロレタリアートに向つて『團結せよ！』と呼び掛けた時ほど、彼等が無産階級意識を力强く喚びさました時はない。そしてそれは、プロレタリアートの歴史的使命を、無産階級理論の基礎であるところの唯物的辯證法上の思惟過程によつて不可抗的に論證した上で放たれた熟語であつた。さういふところに、無産階級意識の本質が把握される。この意味に於て、無産階級意識そのものが既に、ブルジョア社會に內在する矛盾が産んだ一の存在から辯證法的に發展して來たものである。そしてそれが、無産階級の各部に於て演ぜられる行動の無産階級的であるか否かを決定するための、誤らざる標準となつて來てゐるものである。

無産階級運動に於て、屢々個々の場合の策戰を重要視すべきことを强調する主張が、『現實主義』の名で呼ばれる。さうした主張は、無論それだけで無條件的に非無産階級的だとは言はれない。それは恰度、無産階級運動の終極目標を凝視することを强要する主張が、それだけで無條件的に無産階級的だと言はれないのと、同じ譯である。兩者の場合に於て、それらの主張の各々が眞に無産階級的であるか否かは、無産階級意識に裏づけられた行動に結びつけられてゐるか否かによつて決定されるのである。で、今、右の意味に於ける『現實主義』の主張の場合を取り上げて言へば、まづ第一に、その主張が無産階級運動の終極目標を見失つてゐないといふことを條件として、それは無産階級的だといはれ得るのである。但し實際問題として見るときには、主張そのものの上に於て、それが果たして無産階級的運動の終極目標を見失つてゐな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いか否かが看取し得られるものではなく、それに伴ふ行動の上に於て、それが看取し得られるものである。(この場合には、主張と行動との辯證法的統一といふことが問題になる。)で、今假りに、『現實主義』を標榜する或る特殊の無産團體が、實はその主張の掩護の下にそれ自身の團體的利己心の衝動に基いた行動を演ずる、と言つたやうな場合を想定すれば、さうした行動と結び附けられる主張は、明かに非無産階級的なものとして性質づけられなければならないものである。殊に、若しその主張の下に演ぜられる行動が、たとへば、他の主張の下に行動する他のすべての——若しくは多くの——無産團體を或る種の窮地に陥らしめるやうな結果を産むやうなことがあるならば、さうした行動を産んだ『現實主義』の主張は、無産階級運動全體を裏切つたものとして見做されることが出來るものである。といふのは、それは結局、無産階級運動全體を、それの終極目標から故意に遠退かしめたことになり、またその理由で、無産階級意識に於て極力否認されなければならないものになるからである。

前に言つた通りに、無産階級運動に於て、時としては、それの終極目標と個々の場合の必要に策應するための戰術との間の聯關性に關する見解の相異から、同じ無産階級の陣營内に意見の衝突の起ることのあるのは免れられないことである。ただしかし、若しそこに無産階級意識の熾烈な燃燒が普遍的に見られるならば、それは無産階級の陣營内に於ける或る平衡化的過程によつて解決し得られるものである。が、さうでない場合には、無産階級の一部と支配階級の或る一部との間に或る結托が行はれ、その合同の勢力からの壓迫のために、無産階級内の他の一部が、——若しくは全無産階級が、——非常な難局の中へ投げ込まれる、といつたやうな、複雜極まる關係が生じたりなどして、そのために全無産階級運動が、或る比較的に長き——若しくは短き——期間に亘つて、それの歴史的使命の實現から益々遠くかけ離れて行くやうな危險が生じない譯に行かなくなることもあるのである。かう考へるとき我々は、この頃のやうに『現實主義』の叫びが盛に擧けられるときには、それの試金石としての無産階級意識の熾烈なる燃燒の必要が一層痛切に感ぜられてゐることの偶然でないことを、容易に理解することができるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合運動と婦人の問題

山川均

（一）婦人の問題

日本勞働組合評議會の三日に亘る大會を通じて、最も活潑な討論を引起したものは、婦人部に關する問題であつた。

昨年の創立大會によつて採用された規約は、全國中央委員會の下に八つの專門部門を規定してゐるが、婦人に關する特別の機關を認めて居らぬ。これは婦人勞働者の問題を重大視する者の遺憾としたところであつて、私もまた、その一人として、當時報知新聞の紙上に於てこの點に言及したことがある。その後、關東、京都、大阪、神戸などの地方評議會には婦人部が設けられたが、全國中央委員會の下には、これ等の婦人部の活動を統一する專門の機關なくして今日に至つてゐる（昨年中全國婦人部協議會が召集せられたが）。そこで本年の大會には、總本部に婦人部なる專門部門を設ける議案が提出されたのである。

かように地方評議會には既に婦人部が設けられて居り、問題はこれ等の地方的の活動を統一する專門部門を、中央に設けるか否かといふことであつて、問題の範圍はこの意味に限定せられてゐるものであつた。

然るに實際の討論は、この範圍を越えて行はれた。卽ち反對の立場に立つ人々の主張は、たゞに中央委員會の下に婦人部を新設することを非とするのではなくて、一般的に組合運動には婦人部の必要なし、必要がないのみならず有害であるといふことであつた。從つて大會に於ける討論は、問題の本來の範圍よりも一層擴大し、婦人勞働者に對する組合運動の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政策如何といふ根本問題にまで進展した。そこで婦人部の問題は、大いに重要性を増したのである。

（二）　婦人の特殊な事情と特別な機關

現在の社會に於ては、女は男と異つた隷屬的の地位におかれてゐる。これは多年の間、男子が征服者支配者として婦人に臨んだ久しい間の歷史によつて固められた根强い因襲であつて、封建思想が一掃され、家族制度が崩壞して、個人主義の徹底した諸外國に於いてすらも、この因襲は決して充分に打破せられて居らぬ。況んや日本の國情に於ては、この因襲は法律の形を取つて、國家權力によつて確認せられてゐるばかりでなく、法律よりも一層力强い社會制度（家族制度等々）に固まつて完全に保たれてゐる。今日の社會に於ては、この因襲は男子の心理を支配してゐるばかりでなく、婦人自身をも支配し婦人に特殊な心理を植付けてゐる。

かやうに現在の社會に於ては、婦人は特殊な地位――しかも隷屬的な地位――と事情の下におかれてゐる。これは爭ふことの出來ない事實であつて、この事實を見まいとし、またはこの事實を成るべく小さく見ようとする努力は、畢竟、男子の支配者的偏見の發露に外ならぬ。

無產階級の解放運動は、この因襲の打破を直接の目標とすると否とに拘らず、この因襲を打破し、人口の半ばを占める婦人を現在の隷屬的地位から解放する偉大な精神に立脚するものである。無產階級運動の根本精神は、婦人に對する男子の支配者的心理を徹底的に排擊する。けれどもそれ故に、無產階級運動の陣營に參加してゐる個々の男子が、一般に婦人に對する偏見から脫してゐると考へるのは空想である。また無產階級運動の精神は、男子の特權的地位を否認して、男女を平等の人として取扱ふといふことは、現に婦人が男子とは異つた特殊な現情の下におかれて居り、異つた習慣と心理に支配せられて居り、從つてその知識に於ても、眼界に於ても、經驗に於ても、また公的生活に參加する活動の能力に於ても、男子と大に異つてゐるといふ事實――これこそ現實の事實である――とは、全く別個の事柄である、否なこの事實を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

充分に認め、この事實に對して充分な理解を持つことが、やがてこの事實に對する闘爭の第一歩である。

これが婦人に對する特別の機關を必要と認める人々の『謂ゆる婦人の特殊事情』である。かように

（一）婦人は特殊事情の下にある。

（二）從つて勞働組合は、單に男女勞働者を同一階級の成員として、同一に取扱ふといふ、一般原則に基づいた一般的の活動では、婦人勞働者についての任務を完うすることは出來ぬ。即ち勞働組合が婦人に接近し、婦人を組合の活動に引きつけ、これを組織し教育するためには、一般的な方法以外さらに特別な方法を取る必要がある。

（三）然るに、これは一般の組織と教育上の機關に一任しておいたのでは充分でない。これ等の機關が婦人の組織と教育とに力を盡すべきことは勿論であるが、尚ほその上に、婦人勞働者の問題に絶へず全注意を集中し、婦人組合員の意志を適切に代表する特別の機關が必要である。（この機關を假りに婦人部門と名づけておく）。

婦人に關する特別の機關の設置を必要とする人々の間にも、この機關の精密な職分や構成については、多少の異論があるが、これを必要とする人々には、恐らく以上の三點に於ては一致してゐると思ふ。

（三）反對論の論法は自殺的である

勞働組合には、婦人に關する特別の機關の必要なしとする反對論者は、右の三點の第一と第二を承認するが、第三點について意見を異にする。不必要論者は必要論者と均しく、第一第二の點を承認するばかりでなく、この二點を承認してゐることを特に力說する。たゞ不必要論者によれば、必要論者が特別の機關によつて達しようとする目的は、現在の一般組織部と教育部とによつて、一層有効に遂行することが出來るばかりでなく、特別の機關を設けることには、許すべからざる弊害を伴ふといふのである。かように必要論と不必要論との分れるところは、男子と異つた事情の下におかれ婦人勞働者に對して、組合が或る特別の任務を持つといふこと、並びにこの任務の極めに重大なといふ事實についてゞはなくて、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この任務は、如何なる機關によつて遂行することが便利であり、有効であるかといふことに歸着する。これが、この論爭について不必要論者の取つてる——或は取ると主張する——立場であるが、實際に於ても、これが特別の機關の必要不必要を決定する正味の論點となるべきものだと思ふ。

然るに不必要論者がこの出發點から發展せしめた主張を見ると、(代表的な主張について云ふ)不幸にしてこの立場を裏切つてゐる。

不必要論者が最も力を用ひた點は、婦人の特殊な事情を最小限度に縮少するとであつた。即ち婦人の特殊事情なるものは、その大部分は社會關係に基づくものであつて、資本家に對する經濟上の關係に於ては、男子も女子も大なる相異はない。即ち經濟上の關係に於ては、産前産後の手當の要求等々の如き、生理上の理由に基づく二三の特殊な利害を外にしては特に婦人の特殊な利害なるものは存しない。然るに社會關係に基づく婦人の特殊事情(封建的因襲、隷屬的地位等々)なるものは、當然、無産政黨や無産婦人運動の鬪爭目標となるべきものではあるが、經濟鬪爭を主とする勞働組合の職分の範圍外に屬するものであつて、固より組合の關知するところでない。

そこで——不必要論者によれば——少くとも經濟鬪爭を主たる任務とする組合運動の範圍内に於ては、婦人に特殊な問題といへば、せい〴〵二三の問題(産前産後の問題等々)に限られた極めて僅かな分量——恐らくはこれを無視してよい位な僅かな分量——であつて、從つて、それは一般組織部と教育部以外に特別な機關を必要とせぬものである。

以上の主張の内容が正しいか正しくないかは別問題として、右の主張は、婦人部問題について次の如き立場を取ることを意味してゐる。即ち

(一) 組合運動の職分の範圍内では、婦人の特殊事情なるものは、極めて小さな分量である。

(二) 從つて婦人勞働者の組織と教育とに要する特殊の注意、特殊の方法、特殊の活動は、その分量に於ても、重要さに於ても、極めて僅かなものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

（三）それ故に、これは特別の一機關を待つまでもなく、一般組織部と教育部とによつて充分に遂行することが出來る。

かように不必要論は、さきにも述べた通り、前掲の第一第二の點の承認から出發した。即ち婦人の特殊事情の重要を認め、これに對する組合の特殊な活動の重要を認め、尙ほ且つこの重要な任務は、特別の一機關によるよりも、一般組織部と教育部とによつて、より有効に遂行されるといふことを論證する約束を以つて出發したものである。然るに代表的な不必要論は、これとは全く正反對の方向に發展した。即ち婦人の特殊事情とこれに對する組合の特殊任務とを、分量に於ても重要さに於ても極度に小さく見ることにより、それ故にこの任務は、特別の機關なしにも遣れるといふ、全然異つた論證に進んだのである。

これは何を意味してゐるだらうか？ 吾々は婦人の特殊な事情とこれに對する組合の特殊な任務とを看過するものではない、否な必要論者と均しく、その重要性を充分に認めるものであると云ふ不必要論者の主張は、單なる討論の上の戰術に過ぎなかつたか、さもなくば、不必要論者が充分に認めてゐると自信したこの問題の重要性が、實は極めて不充分としか認められてゐなかつたことを意味するに違いない。私は、この問題の重要性を解するが如く解せざるが如き、不必要論の討論本位の御都合主義の論法を遺憾とするものである。

（四）勞働組合は婦人の隸屬狀態と闘ふ必要はないか

不必要論の論點について、一々批評を加へることは、紙數の都合でこゝには省略する。たゞ一言を加へておきたいことは、婦人の經濟上の特殊な利害と、不必要論者がこれと截然なる區別を設けた謂ゆる『社會關係に基づく』婦人の特殊な地位との關係である。

不必要論者によれば、婦人を隸屬的地位においてゐる封建的因襲を打破することは、無產階級運動の任務である。けれどもそれは無產階級の政治運動や無產階級婦人運動の任務であつて、勞働組合の職分の範圍外に屬してゐる。これは或る

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

意味では正當であつて、勞働組合を定義して、封建的因襲の打破を鬪爭目標とする組織であるといふことが、正鵠を失つてゐることは言ふまでもない。

しかしながら勞働組合運動は、その經濟鬪爭の過程の間に、封建的因襲と鬪ふことを避け得るであらうか。斷じて否なである。吾々は現在の資本主義社會に、封建的因襲と封建的反動勢力の遺物が殘存してゐることを常に主張する。けれどもこれは水の中の油のように、封建時代の遺物が資本主義から遊離して、今日の社會に浮んでゐるといふ意味ではない。鍬と鋤とは資本主義以前の生産用具の遺物である。けれども、この遺物は、矢張り日本の現在の社會(それが資本主義社會であることは何人も異議がない)の生産用具といふ、全體の一部を構成してゐるものである。謂ゆる封建的因襲も同じであつて、それは現在の資本主義社會制度の一部を成してゐる。封建的遺物と鬪ふ點では、小ブルジョア自由主義者と吾々は全く一致する。けれども封建的遺物と『資本主義』とを別々のものとして取扱うか、この二つのものを有機的に絡まつたものとして取扱うかによつて、彼等と吾々とは分岐する、この問題に對する無産階級的立場の特徴は、資本主義の經濟上の支配と戰ふ時、吾々は必然に封建的遺物との戰ひを避け得られぬと見る點にある。

これは眼前の事實を有りのまゝにさへ見れば明かである。例へば、婦人は家庭の束縛を受け、または父兄の因襲的な干渉を受けるから、一度び工場から家庭に歸れば、再び集會に出ることは困難である。たま〳〵少數の婦人が一般男子の會合に出席しても、婦人を玩弄物視する男子の因襲と偏見とが知らず知らずのうちに漂ふてゐる會合の空氣のために、婦人の參加者は一人減り二人減り、遂には一人もなくなつてしまふ、等々々々。假りにかうした事實があるとしたならば(そして現に婦人の組織運動は、常にかうした困難を經驗する)、これ等はいづれも謂ゆる封建的因襲であつて、不必要論者が極力、組合の鬪爭の範圍外に排除しようとするものである。けれども多かれ少かれこの障害と鬪ふことなしには、婦人勞働者の組織は不可能である。否な若干の婦人勞働者が現に組合に組織せられてゐる以上は、組合運動は實際には(不必要論者が非常な謙遜を以つてこの鬪爭を政治運動と婦人運動とに讓つてゐるにも拘らず)多かれ少かれこの鬪爭をやつて居り、そして多かれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

少かれ之に打勝つたことを意味してゐる。

勞働組合運動は、婦人の組織運動に當つても、必然に封建的因襲（不必要論者の謂ゆる社會關係に基づく婦人の特殊地位）との闘ひを避け得られぬが、婦人勞働者に對する組合の教育上の活動に至つては、この闘爭が極めて重要な部分を占めることになる。（この闘爭は、男子勞働者の教育に於ても重要である）。婦人を封建的因襲と隷屬とのうちに遺棄しつゝ、しかも階級戰に參加せしめようと云ふことは、あまりに虫のよい空想である。組合の教育が、若しこの闘爭に成功せぬならば、婦人を狭隘な職業的の組合に組織することは出來得ても、階級戰線に立つ眞實の組合に組織することは絶對に不可能である（これは組合の教育は、先づ封建的因襲を打破した上で、次に階級闘爭に教育しなければならぬといふ意味ではない）。現に或る組合では、婦人組合員の教育を、編物や茶の湯を教へることに限つてゐる。これは婦人勞働者を現在の因襲のうちにおいたまゝ、經濟的に組織しようとする標本的の實例であつて、封建的因襲と闘ふことは勞働組合の職分の範圍外であるといふに理論を、組合教育の上に忠實に實行してゐるものである。婦人の經濟上の闘爭と、封建的因襲に對する闘爭とを全然別々のものとして取扱ふことは、機械的な見解であるといふそしりを免れぬ。そしてかような機械的な見解が、特に婦人の問題の場合にのみ許されるのは、男子の支配者的偏見の發露であるといふ批評を免れぬ。

（五）謂ゆる性別組合の危險その他

婦人に關する特別な機關の存在は、婦人の性別的組合を發達せしめる危險がある—また現にこの危險が現はれた—といふ說がある。性別組合の出現！　これは僅かに警鐘を打ち鳴らすに値ひする危險である。若し婦人に關する特別の機關の存在が、現に、或は將來に、性別組合の發達を導いたとするならば、その一部の責任は、この機關の誤つた運用に基づくかも知れないが、責任の大部分は、一般の組合が、事實に於いて男子組合たる性質を帶びたといふ事實に歸しなければならぬ（現にそうだと云ふのではない）。一般の組合が、婦人の參加を拒む男子の性別組合である場合か、さもなくば原則と

しては男女の平等を認める組合であつても、事實に於いて男子の支配者的偏見と因襲とに滿ちた。從つて婦人の意志を適切に代表せず、また婦人の近づきがたい男子組合である場合には、婦人の性別的組合の發達する可能があり、またその必要が生じて來る。けれども如何に白晝の丸の內に强盜の出たことを信じなければならぬ世の中でも、私は日本勞働組合評議會の統制の下にある婦人機關が、性別組合に發達することを信じない。

婦人のみを集めておくと、反男子的傾向が現はれる。これが卽ち性別組合への傾向であつて、階級戰線上に於ける男女の協力を妨げるものだといふ說がある。婦人が自覺の第一步に於いて、多かれ少かれ反男子的傾向を示すといふことは、恐らく事實である。事實であるばかりでなく、當然の事實である。當然の事實であるばかりでなく、必要な事實である。何等かの形に於いてこの思想の過程を通過することなしには、婦人が男子と同一線上に立つて、階級戰に參加することは望まれぬ。男子の偏見と支配には從順に服從せよ、資本家の搾取には勇敢に反抗せよと求めるのは、吉備團子は要求すべからず、鬼ヶ島の征伐にはついて來いと云ふことである。婦人の反男子的傾向（精密に云へば、男子の偏見に對する反抗の氣分）を恐れることに幾何かの理由があるとしたならば、青年のみが集れば反老人的傾向を示すといふ、老人の恐怖には、或はそれ以上の理由を認めねばならぬ。

婦人に對する組合の任務は、特別の機關の協力を待つまでもなく、一般組織部と教育部とによつて、充分に遂行せられるといふ說がある。けれども遺憾ながら不必要論は、その他の點を充分に論證しようとしたにも拘らず、たゞこの一點だけは充分に論證して居らぬ。然るにこの一點こそ、私の信ずるところでは、この問題の眞實の論點なのである。

これに反して少くとも今日までは、一般組織部と教育部とによつて、この任務が充分に遂行せられてゐなかつたことだけは、何人にも異論のない事實である、そこで一般組織部と教育部とで澤山だといふその組織部と教育部とは、經驗上の組織部教育部を指してゐるのではなくて、組織部教育部に對する將來の期待に外ならぬ。吾々は組織部教育部の將來に、如何に大きな期待をも抱くことが出來る。けれども組織部と教育部とに對する將來の期待と、今日までの地方婦人部の實際

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の成績とを比較することは、決して公平な比較とはいはれない。現に婦人部の必要を主張する論者と雖同時に、その充分の必要を主張してゐるのである。それにも拘らず、大會に於ける最大の問題となつたばかりでなく、恐らくは日本の組合運動全體の上に、至大な影響を與へるであらうと信ぜられる。この重大な討議を刺戟したものは、そも／＼何だつたか、不必要論者は婦人部の無益有害を主張するにも拘らず、現在の地方婦人部の廢止をすらも提案しなかつた。日本の組合運動史に於けるこの重大な討議を引き起し、この重要問題に組合運動の注意を喚起したものは、不完全にして無力なりとは云へ現在の婦人部であつたことは、否むことの出來ない事實である。不必要論者は、熱心に、現在の婦人部の爲すなきことを指摘した。けれどもその爲すなき婦人部すらも尙ほこれだけの功績を擧げ得たと云ふことは、婦人の問題に不斷に全注意を集中する特別な機關の必要を、有力に裏書きするものではあるまいか。

(六) 組合大衆の討論に移せ

この問題についての大會の討議は、まだ決定的な結論に達したものではなく、寧ろ今後に行はるべき討議の序幕である。大會がこの問題の決定を保留して、尙ほ一ヶ年の間一般組合員の討議に附したことは極めて賢明な處置であつた。私自身は、婦人に關する特別の機關の必要を信ずるのであるが、充分の討議と理解なくしてこの機關の設けられることは、決して喜ぶべきことではない。これに反して組合運動は、この種の重大問題の討議に一般組合員を參加せしめることによつて、組合大衆を敎育しなければならならぬ。

たゞこの討議に當つて私の希望することは、この問題はあくまでも、その本來の範圍と論點とに於いて討論せられることである。言葉を換へて云へば、婦人の特殊な事情と、これに對する組合運動の特殊な任務とを過小視せず、必要論者も不必要論者も均しくその重要さを認める立場に立ち（單に討論の戰術として、又は言葉の上だけではなく、眞實にその重要さを理解した上で）、この特殊な任務を遂行するためには、如何なる機關と方法とが必要であるかを決定することである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働小話

賣言葉に買言葉

英國炭坑同盟の幹事長クックと、同鐵道組合の幹事長トーマスとは、犬と猿のやうに仲が惡く何かにつけて惡口のなげあひをやるが、最近デリイ・ヘラルド紙の公開欄でトーマスは以下のやうなことを發表した。

『自分はもう長い間、クック氏を眞面目に取り扱ふことは止めにしてゐるが、それにしても炭坑同盟のやうな團體が、經驗と智惠不足を現す外には何の能もない。あの幹事の小供じみた愚鈍の爲めにだん／＼に詰らない團體にされて行くことを考へると殘念でたまらない』

これをみたクックは直に一私は、トーマス君にこう云ふことを記憶しておいて貰いたい。其は勞働組合員の大衆なんていふものは泡のやうな演說によつてリーダアの値打ちなどは批判しないものだ。たゞ彼が鐵道貨物を首尾よく配達出來るかどうかによつて値走をきめるものだと言ことを。トーマス君の野心は、勞働階の敵から御馳走をされてそれで流行的なリーダアとなることの外にはないらしい。氣の毒だが私は、滑稽新聞で人氣を博したい爲めに一度だつて演說をしたことはない。炭坑同盟は、一人齡をお客にお目にかける觀世物ではない。自分が炭工諸君のリーダアたる資格があるかどうかはトーマス君などに批評して貰はなくとも、炭工諸君の批評にまかせてあるのだ。自分は鐵道勞働者諸君に對しい同情を禁じ得ない。それは、彼がリーダアシップの本質さへろく／＼に心得へてゐないリーダアを有してゐるといふ點で、彼等の二重の不幸に對する同情である』と答へて、さつさとセネバに開かれる萬國抗夫大會に出席する爲めに出かけて行つたとのことである。

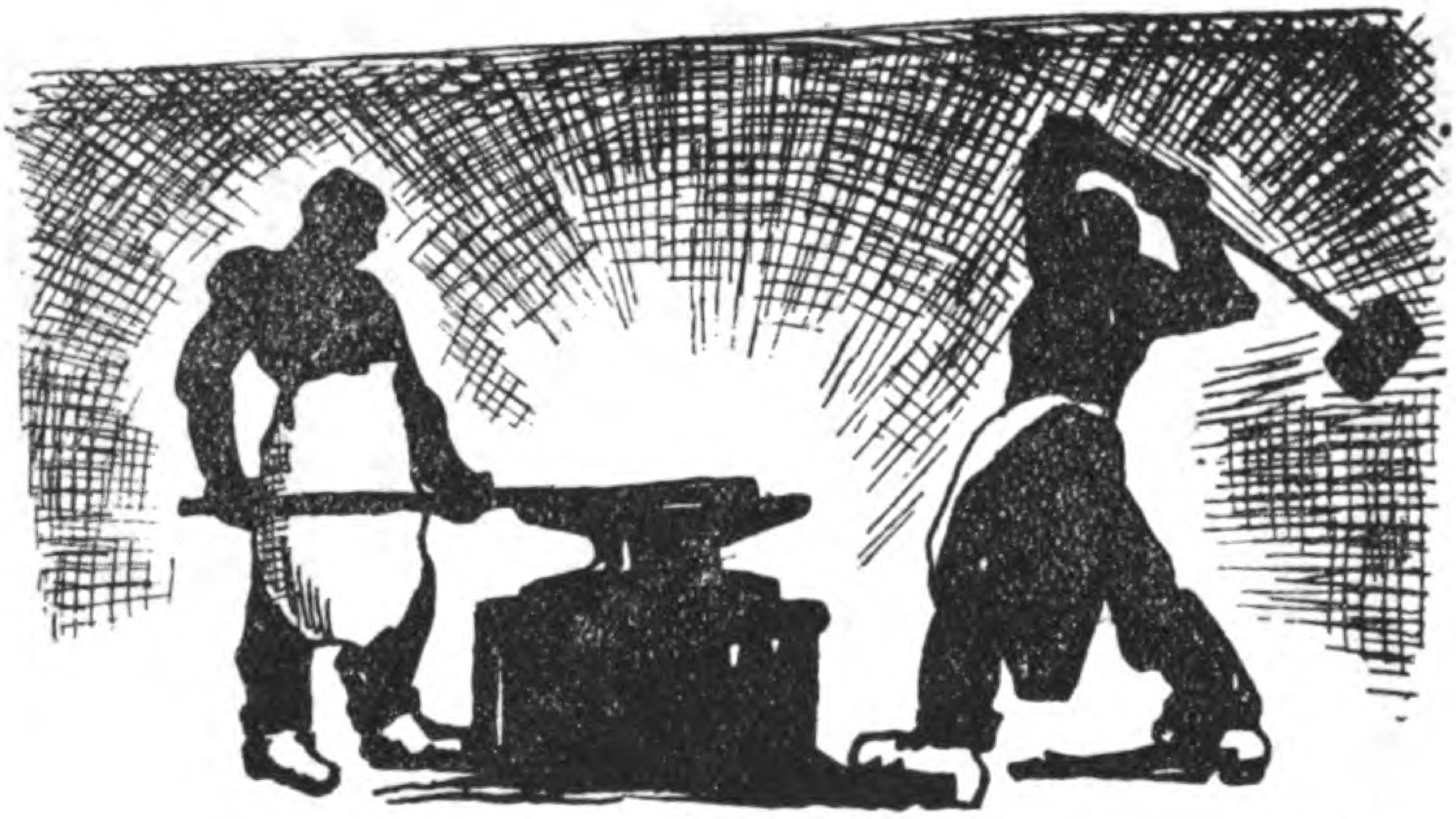
幸福なメキシコ勞働者

一體にメキシコといへば野蛮國扱をされるが、最近のメキシコ勞働者は何れの國の勞働者よりも幸福である。今日のメキシコの勞働階級は、自覺して社會的向上を遂げて、男子も婦人勞働者も最早全然奴隷ではなくして、人間として政府から待遇されてゐる。ストライキを壓迫するやうな法律は、すべて政府の手で取り除かれた、雇人は雇主と同等に取り扱はれる。勞働者は、何れの組合に屬しやうと自由であつて、それは同時に權利である。これに對し、會社や雇主の干涉、壓迫は全然法律上禁ぜられてゐる。のみならず、雇主は婦人、小兒の保護を主眼とする、あらゆる法律を嚴守すべく餘儀なくされてゐる。斯の如く、メキシコ政府とメキシコの勞働者の間は全く同情と協調を以て結ばれてゐる。これは、メキシコに多數の利權を有する、米國の支配階級たる少數の吸血鬼に喜ばれる筈がない。最近ヴエラ・クルーツに於ける石油會社の勞働者が、勞働條件の改善の爲めにストライキをやつた時に、會社はストライキを破るために以前の法律を楯に取つて勞働者を壓迫しやうとしたが、メキシコの高等法院では、會社側が雇人を、雇主と同樣に取扱はなかつたといふ點で、法律違犯と認め、勞働者の賃金五十萬弗を會社から損害賠償として支拂ふべく判決されたといふ一例がある。

これ等は、メキシコに於ける過去二三年間の社會的進步の著しい例外であつて、恐らくは、他の國に見られない程素晴しものである。

（まさいち）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



◇◇◇……勞　農　運　動……◇◇◇

山梨縣の脫退と日本農民運動

三宅正一

一

日本農民組合所屬聯合會中、關東方面に於ては相當有力なる山梨縣聯合會が日本農民組合第五回大會にあらはれたる青年一部の言動を口實として、日本農民組合が共產黨の手中にありと近時耳にタコのあたる程逆宣傳の常套文句にされた合言葉を以て脫退の聲明をし、進んで全日本農民同盟なる新農民組合の組織に狂奔しつつあることは、我が國無產階級運動史上にぬぐうべからざる一大汚點を殘したものであつて遺憾に耐へないが、その此處に到つた經過を靜かに檢討して將來の運動に一層の用意と戒心とを以てするならば禍を轉じて福となすの不可能でない事を確信して、山梨問題を中心にして最近の日本の農民運動を考察することにする。

二

第一に山梨が脫退の口實とした一部青年の妄動云々が虛妄であることを注意したい。

もとより第五回大會の議場に於て、運動に經驗の淺い、血の氣の多い青年代議員が所謂大會空氣に煽ふられて多少激越な言論のあつたことは事實であるが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しかし例へば規約に青年部より大會代議員及び中央執行委員を選出する件の如きも、結局青年の諸君が讓り過ぎる程讓步して中央委員會原案の通過して居るのを見ても明かである。

又しばらく大會等より離れて地方聯合會の實情について云ふならば、組合の指導援助の下に青年部は素直に發達して、運動上偉大なる効果を發揮して居り、一部狂激なる共產分子の妄動等は見るべくもない。

たゞ將來青年部の諸君は、農民の階級構成、農業技術型態組合員の年齢階級の古いこと等の條件を充分考慮して苟くも組合と離叛せず緊密なる聯携を保つて進むことにより始めて組合も青年部も生きる所以を考へなければならぬ。

三

第二に山梨脫退の宣言、全日本農民同盟の創立宣言等にあらはれた現實主義的態度は、日本農民組合の創立以來の根本態度であつてもとより今日と雖も寸分の變りはない。特に反動全盛の今日の運動が一層注意深く現實的立場を保持すべきは云ふ迄もない。

故に今回の脫退は不平幹部の分裂せんが爲の分裂である。

聞くところによれば大會に出席する途次、既に岐阜の大和農民組合に寄つて脫退後の提携を策して行つた幹部があると云ふ噂は、口實をもとめて故意に脫退した裏切的行爲を披露したものと云はねばならない。

豐富なる資金を以て、枯尾花の青年共產派の妄動云々を表面の理由として分裂を策するが如きは、意識的に支配階級の分裂政策を助長せるものと云はれても辯解の辭がなからう。

考ふべきは組織的なる分裂政策の根强い影響に關してである。

全日本農民同盟の顧問に那須博士他數氏の名が報ぜられて居るが、恐らくはその半數位は未だ顧問を承諾されて居らないのを新聞紙上の爲めにする宣傳であらうと信ずるのであるが、眞實顧問を承諾された諸氏も新聞その他、人の口を通じての共產派妄動その他云々の枯尾花を信ずるに至つた執拗にして繼續的な分裂政策に乘ぜられての結果であることを信じたい。

我等は將來斯かる分裂政策に乘ずるの餘地なからしむる樣一層の戒心と用意とを必要とする。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四

日本農民組合は山梨脫退後、何等の動搖を見ないのみならず一層引き締つて、組合員數の如きも山梨で失なつた三千五百をとりもどせと香川の如き大會後既に二千、新潟の如きも一ヶ月に二十五支部千五百を增加して居る。而して山梨縣聯合會の內部には既に正論が擡頭してその分裂は近いと報ぜられてゐる。

無名の叛旗を掲げて無產階級の團結を裂る如きことが、いかに豐富な資金を擁して狂奔するも成功すべきではない。

無產階級の最後的勝利は歷史的必然である。我等はその必然を信じて、正道を踏むのみである。

更らに全日本農民同盟が岐阜の大和農民組合の如き、幹部の組合基金横領を云爲されて中部農民組合を除名されたゴミ合を、あるひは新潟農民組合と云ふが如き代表者豐岡三四郎氏（政友會機關紙新潟時事紙の幹部記者にして節操定評あり）とその夫人のみしか組合員をもたぬ二千人の組合や、定評ある北日本農民を參加せしむるが如き、要するに腐臭鼻向けのならぬ連中を集めて、結局彼等に立場を與へる結果を將來するは憎くむべき限りである。

山梨その他の農民諸君も上記の腐肉に混じるを潔しとせないであろう。

五

所詮大がかりな脫退運動にもかかはらず、新農民組合は分離すべき理由をもたないが故に、遠からず健全分子が日本農民組合に復歸すべきを疑がはない。

ただ、日本農民組合多年の努力により、勞働者農民の提携が理論的にも感情的にも農民の間に信念化したとき、那須博士の新聞に語るが如く、政治經濟兩運動とも農民單獨にと云ふが如き新旗色を窮余捻出するが如き事あらば、その罪は更に大を加へるであらう。

六

要するに我等は支配階級の分裂政策に戒心して、階級的の立場を飽く迄も保持するが故に益々行動を現實化して猛進するならば、日本の農民運動は更らに純化されて結局好果をもたらすべきを信じて稿を終る。

（四、十七　東上の車中にて）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我等の志す組合總聯合

坪井專次郎

一

今や我國の資本主義は過去の如何なる時期にも增して、勞働階級に對する一大攻勢を採りつゝある。しかも、この攻勢は吾等の陣營の分散的、部分的な現狀から益々狂暴の形をとりつゝある。卽ち、賃銀の低下、時間の延長、親方下請負制度其他に依る、守勢的爭議を一見しただけでも、また更に第五十議會には治安維持法は布かれ、爭議等も泥合戰の遊戲のかたわら、何時の間にやら滿場一致を以て、爭議調停法並に暴力行爲取締法を通過させ、關稅の改正をなし、製鐵補助金其他の資本家保護の十數個の法案をも通過させた。

かくて、支配階級は、今日益々勞働者の地位を惡化させ、吾等の結成に陰險なる妨害を敢てせんとして居る。

吾等はこの日常現實の組合運動に於ける苦痛や困難から、如何にして、これを打開し、吾等の運動を發展せしむるべきかが緊急問題となつてきたことを切實に思ふのである。

而して、更に、吾等は、組合總聯合の創立委員會に於ける宣言に於ても言及した如く、全國的勞働組合總聯合の完成こそは、それに依る戰線の統一こそは、實に、この資本攻勢に照應して、無產階級運動を支持し發展させるであらふことを信ずるのである。

二

總聯合の問題は、屢々各組合大會の議案にもなり、その必要は今更に述べるまでもないまでになつたが、その成立の可能不可能に就いては、未だ相當の議論があるであらう。

先づ、最も憂慮さるゝのは、日本勞働總同盟分裂以來の左右兩翼の猛烈な反感、離反にある。一方は左翼小兒病と罵り他方はダラ幹と突き合ふて居るために、右翼派か然らずんば左翼派なりと他組合までが大なる餘波を受け、劃然と區別せ

ざれば人も吾も許さざるの感さへある現狀である。

けれ共、純眞なる全無產者階級の立場からするならば、右も左もあらふ筈はない。それは必ずや一致點を見出したる統一的運動の正道がなくてはたらない筈である。一方が所謂共產黨云々と惡罵を浴せつゝ、また自分は完全なる組合帝國主義の鑄型にはまり込んで、自己組合中心の弊に陷入りつゝある。斯くの如き狀態に於て、無產大衆の刻下の要求たる組合總聯合の完全なる組織に對する、熱誠に於て、左右兩翼が、各々の指導精神を固執して、原理運動となり、或は嘲笑的利用となつて展開する以上は、何時になつても到底、圓滑なる結成を了ることが出來ないし、全くこの問題の重要性を無視し、大衆の要求を蹂躙するものであると言ふことが出來る。

三

然しながら、各組合の幹部は、自覺しつゝある組合員の切なる要求に依て、斯うした無誠意な態度を貫くことの出來るものではない。資本攻勢の前に、吾等の組合運動が、全國的總聯合に形成することは、必ず達成せねばならないし、また無產階級はこれを勝ち得るであらう。

大正十一年十月の大阪に於ける總聯合問題の會議は、吾々に今なほ苦き經驗として思ひ浮べられなければならない。吾々の要求する總聯合の結成といふ一點で、過去一切の行懸りや感情やを打すてゝ、我國社會運動に於ける悲しむべき分派的傾向を徹底的に排除すべく、凡ゆる自省を要すべき時期にある。我國全プロレタリア運動の立場から、無產階級戰線の統一に向つて、全努力を集中すべき時期に到達して居るものではなからふか。速かに、同志間の感情的融和をはかり、組合間の潔僻をすてゝ、資本に對抗しない限り、吾等の運動を發展さすことが出來ない時期にあるのである。

吾等組合總聯合は機械聯合と關西聯合の合同にあたつて、敢て、勞働組合主義を高唱し、組合運動に於ける信義の確立を綱領に揭げ、以て、現下の無產大衆の要求の指し示すところに勇往邁進せんとするに他ならない。

速かに組合總聯合運動を結成すべく、速かにそれが準備運動を開始しなくてはならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共同印刷爭議眞相（一）

高田幸松

利潤の搾取なくしては生命なき資本主義は今やその崩壞末期に當り死力を盡して、兇惡なる毒及を無産階級に向つて振ひつゝあることは多言を要しないことである。

殊に今回の共同印刷の爭議がそのしも代表的なものである今その眞相を發表する前に、先づ、共同印刷自體の歴史を大正八年頃より概略語つて置きたいと思ふ。共同印刷株式會社とは、元、博文館印刷所並に精美堂印刷所が合同して昨年十二月三十日改稱したもので、株式會社とは即ち彼等の常套手段用税の輕減を計らむためであつて、實は、大橋一族の個人經營であり、彼の獨裁專政下に於かれてあるものである。

共印、即ち博文館に於ては大正八年頃は殆と隔月毎に爭議が操返されてゐたのであつたが、遂に七月に至つて一大爭議が起された。此時には爭議團は敵の牙城印刷同業組合の規約迄變更せしめるに至つて大勝利解決した。

然して一方従業員は結束して大進會なる組合を造つて獲得條件の維持に當つてゐたが一ヶ年内外にして軟弱幹部の買收(現在の職工長がそれである)強硬幹部の馘首等官憲と結託して、遂に大進會を踏潰してしまつた。然して後二三年は相變らず部分的な爭議は起され遂に内部に工場協議員會なる協調機關を置くの已むなきに至つた。大正十二年の大震災は來た。その時は全勢力を傾けて築きあげた新工場（鐵筋コンクリート三階建）が出來上つて作業開始直後であつたのだが震災の時モロクも一震によつて僅か五秒の間に倒壞し三百有余の従業員は全部生埋めとされてしまつた。而して四十一名の死者、四十余名の重傷者を出すに至つた。その發掘に約十日を費した程である。然るに大橋が三日目に現状に於て泣き叫ぶ親族の前でそれ等の死者に對する言語同斷の取扱方をなした結果遂に現場に働く従業員を激仰させ、彼の理不盡を詰問し謝罪せしむるに至つたのである。

然るに彼は未だこれにこりずして、當時の社會不安をもつ

けの幸として、過酷な勞働條件、賃銀の引下を行つたのである。從業員は結局その當時の不安な狀態のため泣寢入りの已むなきに至つたのであるがその恨みは忘れる由もなかつた。殊に彼の貪慾性は更に發展して彼の支配下にあつた、共濟會經營の物品供給部に於て驚くなかれ市價當時白米ですら一升四十錢であつたものが彼は玄米を一升五十錢宛で賣付けた事として月末に給料より差引いたこともあつたのである。

斯くして半歳を經るも更に條件は復活されない。元より工場は昨年のうちに舊態以上に改復してゐるのであつた。

遂に十三年五月一日の第二工場出火の際の彼の態度に憤慨した從業員は五月二日に至つて震災以前の勞働條件に改復されん事を歎願するに至つた。然しながら今迄從順であつた從業員を極度に見縊てゐる彼は頭からそれを剎付け威赫したのであつた。茲迄忍んで來た從業員は最早彼の狂暴に憤慨するのは當然である。遂に五月三日の臨時出勤は印刷科全員一人も出社するものなきに至つたので尠からず彼も驚いたのであつた。而しながら尙彼は之に答ふるに懲罰を以て答へたので從業員は何時迄も從順な羊ではなかつた。五月四日に至つて各職場代表者を選んで十ヶ條の新なる要求條項を作成してこれを突付けるに至つた。初めは、頑强に退けてゐた彼も從業員の態度の强硬なるに驚いて、殆全部の要求は貫徹されて解決するに至つた。

斯くて從業員は結束の必要を痛感してＨＰクラブを組織し條件維持並に當時力のあつた關東印刷勞働組合と提携して專ら教育に盡していたのであつた。

資本主義の行詰りと共に彼等の所謂不況は迫つて來るのである。十四年に至つて殊に共同印刷に於ては過去の怠漫が患して行詰つたのであつた。昨年迄は純益四五十萬圓を擧げてゐたのが、十四年に至つては缺損の狀態に落入つたのであつた。彼等は其責任を從業員怠隋にありと宣傳するに至つた、

殊に一方ＨＰクラブは成長して出版勞働組合と改稱し更に關東印刷勞働組合と合同して基礎益强固となつて來たので彼等は益々逆宣傳を爲し會社の缺損は組合の責任であると公言するに至つた。一方組合に於ては組合員の引締及び會社の逆宣傳に對して尙好意的に、テーゼを發表して緊張して作業することを組合員に示した程であつた。殊に日淸、秀英の爭議に當つてそれを注意するに至つた。

一方何が故に會社は斯くも缺損するか、又その缺陷何れに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あるかを調査して改革する事を會社に要求して、遂に組合、工場協議員會、會社の聯合からなる能率増進委員會すら起す事を承認したのであつた。而して能率増進委員會に於て調査部を設け缺損の理由調査を開始した所驚くなかれ、意外の事實が發見されて來たのであつた。例へば十月の出水の際紙倉庫に於て現品調査を爲し十一月に更に調査した結果卷取紙が五千連行衛不明になつてゐる事、營業部長の井崎刪治が凸版印刷と結託して仕事を持つて行く事、鐵工部の職長が注文された機械を傳票を他の市中の工場に廻して巨利をしめてゐる事、等々攻撃に遑なき程惡事が能率増進委員會に於て調査發表されるに至り遂に上製本科の工長の如きは不正を摘發され工長席から引づられ從業員に散々攻められ事務所に突き出され即日解雇される等、蠍蛇的の大醜態を發露するに至つた。

これに驚いた會社幹部は斯くの如きは從業員が會社の經營權に容喙するものであり從つて工場管理を爲さんとするものであると逆宣傳を爲し巧みに能率増進委員會をサボタージュするに至つたと同時に己れの惡事を摘發されて極度の恐怖にからるるに至つたのである。

斯るうちに年末に至つて事業不振の下に事務員並に白龍會に職工長組合員約三十名の馘首が行はれるに至つた。結果白龍會員は年末多忙中にも不拘約一週間に亘る怠業、罷業を行つたのである。然しながら從業員は益々訓練されて今は職工長の必要を認めない、殊に斯くの如く惡事のみ事とする工長の必要を認めず、自らよく作業が繼續されるので會社は更に苦痛を感ぜずにゐるので引込の付かなくなつた工長連中は最後の手段として辭表を社長に呈するに至つた所、社長はそれを受取つて返さないので益々進退に困つた白龍會員は遂に膝を屈して謝罪するに至つた。

斯くて全ての信用を失した白龍會員は何等かの方法を以て信用の改復を爲さねばならぬと考へたのが今度の共同印刷の爭議の起因である。而して考へ出したのは日清秀英の爭議の際社長大橋光吉の採つた態度か卑劣であり遂に印刷同業組合から除名され煩悶の中にあるを利用しこれを煽動して從業員並に組合を陳し入れ自已の地位を回復せむと計たのである。

その結果、昨年末より本年初頭に亘り社長を說き、今日社長が不遇にある事は從業員が結束して種々不當の要求を爲すにある。殊に彼等の屬する組合は共產主義を標榜してゐるので今に工場を占領さるゝに至るであらう、今のうちに强硬に

これを蹂躙さねば遂に彼等は工場の經營權を奪ふであろう、事を爲すは今である、社長にして其意志あるならば我々は責任を以て蹂躙して御電に入れる。と言葉巧みに煽動した結果、大橋光吉は自己の工場が現在如何なる立場に置かれてあるかまた従業員が如何なる程度に進んでゐるか、若し此際問題を起せば如何になり行くか更に何の考慮もなくこの煽動にのせられ、今回の大失態を引起す原因を造つて來たのである。

斯くて一月八日突然鑄造科、貯品科に對し職工長より三日毎に一日の臨時休業、鐵工科に對しては隔日出勤を操業短縮の名の下に申渡したのであつた。晴天の霹靂、三科の従業員は驚いて將來を協議するに至つたのである。

一方斯くの如き問題を協議し凡てを未然に防がんがため造られてある能率増進委員會へ何等の發表なきは不當であると翌日會社に向つてその不誠意を詰問し更に能率増進委員會の速時開催を要求し遂に十一日に至つて小委員會を開催するに至つたのである。而して昨年來問題とされてゐた各科人員の調節（共同印刷には半變式に役付が多く能率が擧らず高級をムサボル階級に同龍會と云ふものがある）を行つて能率を増進し經費を節減する事の實行のため調査委員會を開催するに至り調査した結果、會社が現在過剩とする人員八十名の割當を調査し會委員會は五十八名の割當案を作り作業の進展を計して重役會議へ提出したのであつた。然るに會社はそのうち僅か十七名を採用して他は之を認めず更に三科に對しては彼の不當な勞働條件の引下げを實行すると云ふのであつた。しかし乍ら問題を起す事は双方のため不利であるとして涙を呑んで三科の賃金引下げを承認し即ち會社の此度發表せる所に依ば結局一ヶ月五千壹百五十八圓十二錢の經費節減にある所からこれに對する能率を案出し對案を作成するに至つた、即ち

（鑄　造　科）
日給一割減（一ヶ月）　六百八十一圓八十七錢六厘
（鐵　工　科）
日給二割減（一ヶ月）　壹千三百七十參圓參拾貳錢
（貯　品　科）
轉科による減額　一ヶ月　六百七十七圓四錢
工員負擔計　貳千七百參拾貳圓貳拾參錢六厘
會社負擔差引　貳千四　五圓八十八錢四厘
但し會社負擔の分は他職場に於て消耗品其他にて節減する事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くの如く勞働組合自體としては泣くにも泣かれぬ程苦い思をして問題を未前に防ぎ圓滿解決を計らむとしこの提案を示したのであつた。

然るに會社はこれを重役會議に計りたる結果、斷然刎付けて來たのであつた。即ち會社の目的は徹頭徹尾挑戰であつたのである。しかし、從業員大會は尙ほも會社の反省を求め、會社も一日の考慮を爲すに至つた。斯くて十九日午後三時に解答を求むる事になつたが、專務吉谷專吉は冷然氷の如く會社としては最初の方針以外に何等諸君の意見を聞き入れる事は出來ぬのでお斷りすると解答したのである。

會社は營利を目的とするそれがためには如何なる方法も取るまた從業員扶養の義務は絕對にないと云ふに至つたので、交渉は、遂に決裂して引上げるに至つたのであつた。

交渉委員の報告了るやあくまで圓滿なる解決を望む從業員大會は明日も工場に入り作業を繼續して交渉すべしとて解散したのであつた。

然共一方明朝會社の行ふ工場閉鎖も想像さるゝので夜間更に各部門の編成及會場借入の準備は遺憾なく行はれ對策は凡て出來上つてゐた。果哉廿日當分の内休業の貼紙は各所に張られ各入口は堅く釘付けにされ工場は閉鎖された。而れ共凡ての準備を昨夜のうちに備へた組合本部に於ては僅か卅分にして貳千三百名の從業員を六ヶ所に分宿せしめ何等の混亂を見るに至らなかつた。尙會社のこの態度に從業員の反感は益々昂まつて行くのであつた。それと共に會社は實に大失敗の第一歩を踏出したのである。

而して一方爭議團を形成せる從業員は更に決議文を以て會社を訪問しその不當を詰り反省を促したのである。然るに無謀にも吉谷專務は團體交渉を認めずと尙本日限り全員解雇を爲したれば今は諸君に何等の關係なしと言ふに至つたので、斯くの如き無謀はあり得ない若し解雇するならば解雇すべき諸般の手續き等取りたるやと詰寄せられ、それは會社の任意であると暴言を爲し殊に解雇通知はこれより發送するのであると云ふ醜狀までも現出するに至つたのである。

かくて持久戰の準備に移り對抗策を取る一方早くも二十二日に至り交通遮斷不當詰問（會社は、東西の通路に新しい門を設け交通を遮斷した）の區民大會が區民有志によつて無量院に開かるるに至つたと共に二十三四日と開かれた評議會擴大中央委員會よりは詰問委員が派遣されるやら消費組合博文

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

所共働社、東京共働社並消費組合聯盟の決死的應援、更に進んで一月二十七日には小石川區名譽職總會が開催され會社詰間の決議か行はれ廿八日には神田青年會館に於て全市印刷工大會が開かれ引續き區民大會、父兄大會か開かれて詰問される等社會の輿論は彌か上に爭議團に加り會社は八方輿論攻撃の直闘に陷ち入つたので極度の狼狽をした會社側は八方手を廻し秘術のあらむ限りを盡し官憲と結託して爭議團切崩しに死力を盡したが何等の効果も得ず反つて嘲笑の的となつたのである。

八方輿論の攻撃と爭議團の結束の堅きに引替へ會社幹部の無智と職長の意氣地なしに業を煮した會社側は只賴みとするものは官憲あるのみで爭議中の官憲の壓迫振りまた徹底したものであつた。

然しながら斯る事の操返されるにつれて反比例的に輿論と爭議團の結束は堅くなるのみである結果最後の手段として二月一日に工場を開く事を會社は發表すると同時に二月一日に入場せざるものは解雇する旨の通知を改めて發送し尚幾多の犠牲を拂つて動力機械の空廻しをなせば職工は夢遊病者の如く工場に崩れ込んで來ると云ふ彼等一流の哲學の上に工場開きを決行する事になつた。一方官憲に於ては明日の工場開きを最後の手段として之を支持せむと何を血迷つたのか一月三十一日夜半に至つて突然一つの流言を放ち卽ち今夜爭議團が電線を切斷して工場襲撃を行と言ふ名目の下に訪問隊宿所、情報隊宿所、警備隊宿所を午前三時頃襲ひ來り何も知らずに寢入つてゐる爭議團約三百名を亂暴にも檢束してしまつた。

一方少年部の活動は殊に勇敢に行はれた、少年は一月二十日未明に叩き起され無理矢理に貨物自動車に積込まれ飯能方面に送り返され停留所附近から放り出された不滿は父兄と共に忘れることは出來なかつた。

然るに一月三十日頃より少年部卽ち生徒寄宿の舍監が飯能方面に出張して父兄を欺いて一月三十一日の夜間工場内に送込もうとしたのであつた。これを知つた少年部はこれが喰止めのため眞夜中青梅街道に於て舍監の乘込める自動車を喰止め不當を詰問したため彼は遂に目的を達せず引上げるの止むなきに至つたのである。

それに加へて一方示威的に新聞廣告を以て工員の募集を爲し切崩しの方策を講じる等あらゆる手段が一月三十一日二月一日に施されたのであつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯うした必死の彼等の作戰も爭議團には何等の苦痛も與へないのみか反つて意氣昇り工場開きの二月一日は工場に崩れ込まないで正反對に爭議團は上野動物園にピクニックを行ひ動物園に崩れ込んで一日の淸遊を爲したので驚いたのは會社であつた、遂に堪りかねた彼等は二月二日に至り正式でも非公式でもよいから會見したいと再三申込むに至つた。

爭議團としては非公式に會見する事を承諾し午後會社を訪問し吉原重役に會見した、彼曰く、ゑらい事になつてしまつた諸君の力がこんなにあろうとは思はなかつた、最初は二三日位で片付く心算だつたか飛んでもない事になつてしまつた後悔話しをして要するに今度は會社が大失敗をしたと繰返し繰返し言ひ、しきりに同情を求めてゐるので、昨日の新聞廣告で多數の應募者があつた事でせうと重ねて反問を繰返せるに毎々素人で何の得る所もないと答へてゐた、然しながら此問題に就ては會社は現在の堆積せる失業者を利用して爭議團を切崩さむと爲し如何に多くの失業者を苦しめたか。これ等求職希望者は毎々素人であり、或は郵便配達夫であるとか雜穀店の小僧であつたとか農夫である又は新聞廣告により四國から上京した等殆技術者は一人も居なかつたのであつた、この狀勢を目前に聞き知つた爭議團は反つて會社の策戰を嘲笑すると同時に失業中の同僚を斯くまで利用して相打たしめる事に憤激し結局結束をより強固にするに至つたのであつた。

尙吉原重役と會話中重役間に意見の不一致並に社長の專斷行爲が今日の患を爲してゐる事を知り得た、然しそれは共同印刷としては當然あり得る事であるので結局問題の重點にはあまり觸れないで會見は終つた。

匆窓、此會見が行はれるや翌日は組合幹部は百萬圓にて買收さるとの宣傳が八方に飛んでゐた、如何に卑劣な策戰であるかと窺はれる。

然乍、問題は何時までも放任されてゐない遂に曾て昨年日淸秀英の爭議に乘出して仲介の任に當つた美術印刷專務皆川省三氏起て此問題解決のため再び乘出して來たそれは丁度二月三日であつた、斯くて折衝の結果皆川氏は遂に講談社を動かしその代表者となり更にダイヤモンド社長石山賢吉氏を起たしめ折衝を開始するに至つた、石山賢吉氏は皆川氏の上役にして大橋新太郎と關係深き藤原銀次郎とまた關係深きものである事を後に知るに至つたのである。

斯くて二月六日大橋新太郎、石山賢吉氏の會見は行はるゝ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に至つた、而してこの會見より引續き七日八日に亙り會社と交渉は行なはれたが會社の余りに頑迷さに流石の石山氏も遂に九日に交渉決裂するに至つた。

ブルジョア階級から見てすら頑迷且無暴が判然として知れ手を引くに至る如き共印の横暴に對し攻撃の輿論は益々加はるのである。

斯くて十日には曾て夜間飯能の驛よりクモの子を追ふ如く放逐された生徒(少年)の父兄はワザワザ上京會社を訪問し理由を質さむとした事も會社はこれにすら會見を拒んだのである、ために父兄は憤慨して引上げ組合本部にこれを通じた程である。

遂に堪へかねた會社は二月十三日に再度爭議團隣入れのために聲明書を發表すると同時に仲介者をして交渉を開始するに至つたのである、而して十四日爭議團、會社の第一回會見は丸の内工業倶樂部に於て行はれた。會社側は、社長大橋光吉、外重役全部、組合側は交渉委員高田幸松、外六名、仲介者として石山賢吉、皆川省三兩氏列席。先づ古谷專務より、既に價格表記發送者の解雇は已むを得ない、解雇數は舊博文三九六舊精美堂八一一金子三三五福山二一一計五三三四人であると尙三科の操業短縮に基く冗員は七十名で他は在來の行跡が會社と相容れない者であると發表したので、組合側より吾々は會社の主張する意味の解雇には絕對反對する、而しながら會社が事業縮少のため止むを得ないと云ふなれば最少限度に之を認める、但しそれには當然解雇手當を條件とする、意味の意見を提示し一方大體方針として左記四ヶ條を表示して解答を求めた。

一、解雇反對

但し會社が事情已むを得ざる時は不良分子と云ふ名儀を撤して若干なれば認む卽ち事業短縮のための減員

二、解雇手當

若し解雇者を出す場合幾何の手當を出すか明示せよ

三、爭議中の日給

爭議中の日給全額支給する事、

四、新工場規約

新工場規約が出來 あれば之を示して貰ひたい

先づ以上を主要眼目として提示したるに會社側は別室に退き重役會議を開きたるも回答するに至らず、仲介者をして回答を明日に延期されたしと申込んで來た。(未完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中欧の『メエデー』を見る

守田有秋

×

瑞西及び獨逸に於ける、私のメエデーの思ひ出は、頗る呆氣ないものである。なぜかなれば、戰時及び革命後に於てはメエデー以上の、いろんな示威運動が續出して居たので、特に、メエデーの盛な示威運動を見る機會を持たなかつたからである。殊に瑞西の如き國では、メエデーに際して、政府が何等の干渉も試みないので、實に平和な祝祭の氣分が漲つて居たからである。檢束、擲打、格鬪、流血の華かさは、何と云つても、今の所では日本のメエデーにかなはない。

革命後の獨逸のメエデーなどは、氣の拔けたビールの感があつて、お話しするにも張り合ひがない。

×

私の瑞西滯在中、瑞西國は表面上中立を嚴守して居たにも拘らず、山と山の間の大工場で、日本の潛航艇の注文などを引受けて、居た位であるから、恐らく、他の諸國からも軍器の注文を受けて居たのであらう。さうした結果は、チユリッヒの軍器製造所に於ける大ストライキの勃發となり、市街にバリケードを造つて、勞働者と軍隊が、血を流し合つたことなども一再ではなかつた、さうした興奮した時期に、メエデーの運動などは、全くそつち除けの狀態であつた。

チユーリッヒで、大衆ストライキ的な騷動が起つたに對して、ジユネヴでは、フランス系の瑞西人が、外務大臣ホッフマンの單獨講和斡旋事件で、莫迦騷ぎをやつたことがある。由來フランス系の瑞西人は、獨逸系の瑞西人よりも、遙かに親佛的なナショナリストで、勞働運動熱の高いのは、やはり獨逸系の瑞西人であつた。

×

獨逸と瑞西の國境バアゼルに住んで居た頃、一度秩序あるメエデーに接した。バアゼルは一九一二年かに萬國社會黨大會の開催された土地だけあつて、中々多くの勞働者が住つて居り、そして、運動も相當に盛んであつた。戰爭中にリイフクネヒトの逮捕に對して、獨逸軍閥に抗議的集會を試みたの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も、此の市の勞働者であつた。

此の市は人口十二萬の小市であるから、大した勞働者の數も見られなかつたが、一九一六年のメエデーには、四千人許りの勞働者が市の中央に勢揃へして、市外のランゲ、エルレンの森林に赴き、其處で、思ひ思ひに、反軍閥、及び、反獨逸的の熱辯を揮つた。其の會の大立者は、チユーリッヒのノッブと云ふ人であつたが、此の人は、後にゼネラル・ストライキの煽擾で、可なり重い刑に處せられた。

此のメエデーに際して、私の感心したことは、一人の警官も出張せず、何等の干渉も加へられなかつたことである、數千の勞働者が、隊伍肅々と四列に組んで進む中に、少年少女隊も加はつて居た、殊に少女隊は、純白な晴れの着物の裾を短かく蹴つて、手に、手に、いろんな立て札を捧げて進んだそれには、「八時間勞働」、「平和促進」、「軍閥撲滅」などの文字が記されてあつた。勞働者は、いづれも緊張した顔付をして進んで居たが、列の傍に附いて行く私の方を見て、異邦の同志だと思つたか時々聲をかけたり手をあけたりなどして、歡びつゝ進んだ。

女工連の一隊は、女工の旗手を先頭に進んだ、いづれも、其の頃には、勞働者としての得意と歡喜が滿ちて居た。

×

革命後の伯林に於けるメエデーは、如何にも景氣のないものであつた。示威行列も極く少く、催しと言つては、首相シャイデマンの演説が、議會前の廣場で試みられた位のものであつた。

なぜ革命後のメエデーが、寂しかつたかと云へば、それは勞働團體が、それ〴〵に分離して、一致した行動が取れなかつたからである。當時(一九一九年)政權を握つて居たものは社會民主黨であつたが、民主黨と、犬猿啻ならぬ獨立黨や、共産黨は、民主黨の勞働者と同一の行動を取ることが能なかつた。

メエデーよりも盛んな示威運動が、其の頃いくつも行はれた。否な、否な、その頃、社會黨と獨立黨との間には、いくつもの流血的の鬪爭が行はれて居たのだ。シエネベルグと稱する伯林の一區は、全然獨立黨及び共産黨の手中に歸したので、政府の軍隊は、彼等を包圍して、攻撃を開始し、共産黨員は、陸相ノスケのために可なり多く虐殺されたのである。

かゝる勞働者の日、メエデーは數年續いた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

左翼小兒病

堺利彦

ドイツの左翼共産主義（首領——黨——階級——大衆）

こゝに論ずるドイツ共産主義者は、自分では『左翼』と稱せず、『原則的反對派』と稱してゐる。その主張の要點を知る爲『ドイツ共産黨の分裂』と題するパンフレットから左の數節を轉載する。

『政治上、資本主義と社會主義との過渡期はプロレタリヤ獨裁の時代である……』『こゝで問題が起る。この獨裁權を握る者は誰か。共産黨か、プロレタリヤ階級か。……』

『我々は、原則上、プロレタリヤの獨裁に努むべきである。從つて黨の政策、組織、戰術等は總て此の目的に伴ふべく設定さるべきである。故に他の諸黨派との有らゆる妥協は排斥すべきである。我々は、歷史的および政治的に見て時代後れの鬪爭形態たる、議會政策に跡戻るべきでない。權謀術策を弄ぶべきでない。特にプロレタリヤ的なる鬪爭手段が强調さるべきである。プロレタリヤの最大群を包括する爲には、最も廣い基礎の上に新らしい組織形體を作らればならぬ。有らゆる鬪爭的要素の集合場は、工場委員會を基礎とする勞働組合である。「舊式の勞働組合を去れ」といふスローガンに從つた總ての勞働者は、悉くこゝに集合して團結すべきである。加入の資格は、階級鬪爭、ソヴィエット制度、及び獨裁の承認だけで澤山である。それ以上の教育と訓練とは、組合外にある黨の任務である。』

『そこで、二種の共産黨が生ずる事になる。一つは首領の政黨、上から指揮する政黨、妥協と議會政策とを行ふ政黨、聯立內閣にはいれ

る樣な形勢を作りだす政黨であり、今一つは大衆の政黨、下からの闘爭力に依る政黨、明白なる唯一の闘爭方法を確守する政黨、議會政策と日和見主義とを排斥する政黨。……前者は首領の獨裁、後者は大衆の獨裁、――これが我々のスローガンである。」

凡そ右の如きものが、ドイツ反對派共產黨の有する意見の要點である。一九〇三年以來、ボリシエキキ黨の發展した跡を知る者に取つては、右の如きものが例の左翼小兒病の徵候であることは誠に明白である。

黨の獨裁か階級の獨裁か、首領の黨か大衆の黨かなどとは、頭の混雜も亦た甚だしい。寧ろ滑稽である。大衆が階級に別たれる、大衆と階級とを對立させるのは、社會的の地位職業等を總て無差別に見た一般大多數の民衆と、社會的にハッキリした地位職業を持つ諸種の人々とを對立させる場合にのみ可能である。そして階級は大抵いつかは政黨に指導され、政黨は普通に首領と呼ばれ、その責任ある地位に選擧された所の、勢力あり權威あり經驗ある、一群の人々に依つて指導される。これはイロハである、簡單明瞭である。然るにかの駄辯は何事ぞ。

然し彼等は恐らく、政治上の大困難に遭遇して、合法運動と不合法運動とが急激に轉換して、首領と黨と階級との平生の簡單な關係が混雜した時、戸まどひをしたのだらう。ドイツでも、他のヨーロッパ諸國でも、平生から餘り多く合法運動に慣らされてゐた。だから動亂が一時にやつて來て、合法から不合法への急激な轉換が必要となり、首領群を選定し持續する非民主的方法が必要となつた時、人々の頭が混亂して變な空想的な事を云ひだしたのである。

又、首領と大衆とを對立させて、無暗に首領を攻擊する事が今日の流行になつてゐるが、それらの用語の眞意義は兎かく理解されてゐない。諸國とも、首領と大衆との行動が明かに別れたのは、帝國主義戰爭の終り頃からである。この現象の主要原因は、昔しイギリスの實例に依つて、マルクスとエンゲルスとが幾度も說明してゐる。イギリスには、その國の優勢な地位からして、大衆の中に、勞働貴族、小ブルジョア、及び日和見主義者が出來た。この勞働貴族の首領達は、絕えずブルジョア側に加擔し、直接間接それからの養ひを受けてゐた。マルクスは公然、彼等を裏切者と目した。廿世紀の新帝國主義は、進步した數個國に獨占的地位を與へた。その爲、第二インタナショナルの到る處に、特に勞働貴族の利益

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を考へる所の、哀切首領、日和見主義者、愛國社會主義者を作りだした。かくて日和見政黨が大衆から離れた。この害悪が除かれぬ限り、勞働階級の勝利は不可能である。第三インタナシヨルは卽ちその政策をとる者である。

然るに、この問題を曲解して、大衆の獨裁と首領の獨裁との對立とするのは、笑ふべき愚考である。殊に、指導者を排斥せよといふスローガンに隱れて、舊首領の代りに新首領の押し立てられるのは、滑稽である。更に、この問題を『一層深刻』にして、總て政黨は無用であるブルジョア的であると主張するに至つては、何とも云ひ様のない無茶である。

（譯者。日本では、今日そんな主張をするのはアナキストに限られてゐるが、ヨーロッパにはマルクス主義者と稱しながら、實際にはそんな主張をする連中もある。日本にも、サンヂカリストの復活者が出ないとも限らない。）

黨と、黨の紀律との否認、これが反對派の主張の結果である。然しこれはブルジョアの爲にプロレタリヤの武装を解除するに等しい。黨を拒否する事は、資本制度顚覆の翌日から、直ちに共産制の最高段階に飛ぶ事を意味する。我がロシヤは、ブルジョア顚覆後、既に三年になるが、まだ過渡時代の第一步（卽ち共産制の最低段階）にある。プロレタリヤの政權獲得後、階級は猶ほ存續する。階級を撥するとは、地主や資本家を無くする事ばかりでなく（それは寧ろロシいに於て容易であつたが）、別に商品の小生産者を無くする事を意味する。（それが容易でない）。彼等はプロレタリヤを包圍して、小ブルジョアの雰圍氣でプロレタリヤを墮落させる。それと對抗する爲には、プロレタリヤ政黨の內部に於ける嚴重な中央集權と訓練とが必要である。プロレタリヤの組織的活動を遂行する爲に、それが必要である。プロレタリヤの獨裁は、強力的にも平和的にも、軍事的にも經濟的にも、教育的にも行政的にも、總て舊社會の諸勢力と諸傳統とに對する徹底的鬪爭である。幾百千萬人の習慣の力は恐るべき敵である。それに比すれば、集中された大ブルジョアジーを亡ぼす事は百千倍の容易さである。故にプロレタリヤ黨の紀律を弛めやうとする者は　卽ち敵に味方する者である。

次に保守的勞働組合に對する問題に入るのだが、その前、大體の結論を云へば、首領專制に對する攻擊など決して珍らしい事でなく左翼小兒病は少しも恐れるに足りない。それは何らの害を殘さずして過ぎ去る病氣であつて、後になつて身體の健康を增す位である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

保守的勞働組合に加入すべきか

ドイツ左翼共産主義者は此の間に對し、斷乎として否と答へる。然し彼等が如何に怒罵し憤慨しても、それは根本的に間違つてゐる。それを説明する爲、我々はこゝにロシャの經驗を語る。首領と、黨と、階級と、大衆との間の關係、及びそれと同時に、プロレタリヤ獨裁と勞働組合との關係は、ロシャに於いては、次の如き具體的の形式を以て現はれてゐる。即ち

先づ、プロレタリヤの獨裁はソヴイエットに組織されたるプロレタリヤに依つて行はれる。そのソヴイエットは共産黨に依つて指導される。その共産黨は、一九二〇年四月調に依れば、六十一萬一千人の黨員を有してゐる。我々は黨を餘り大きくすることを好まない。獵官者や山師的の人物の無暗にはいりこむ恐れがあるから。我々が勞働者や農民に對して廣く黨の門戸を開いたのは、反革命軍がまだ優勢であつた頃（一九一九年の冬）であつた。その頃には、ソヴイエット共和國が甚だしい危險に瀕してゐたので、山師や獵官者の類が共産黨に依つて利益を得る見込がなかつた。共産黨は（黨員千名につき一名の代議員より成る所の）年々の大會で選擧する十九名の中央委員に依つて黨務を執行する。尙モスコウに於ける日常の事務は、更に右よりも少い機關（即ち組織部と政治部）で處理される。そしてこの二部は中央委員會が選擧した各五名の委員から成る。これは如何にも寡頭政治（少數專制）の樣に見える。國家機關に於ける重要なる政治上、或は組織上の問題は、一として黨の中央の委員會の指令なしには行はれてゐない。

然るに黨がその事務を行ふには、必ず直接に勞働組合を基礎としてゐる。

勞働組合は（一九二〇年四月調に依れば）四百萬の組合員を有し、形式上は無黨派である。然し實際上、大多數の組合の、殊に全勞勞働組合中央委員會諸機關は、共産主義者から成り立つて居る。斯くて、大體上、無黨派の形體を有する、そして彈力のある、可なり廣凡にして有力なプロレタリヤ機關が成立し、それに依つて黨が階級および大衆と密接に連結し、それに依つて、黨の指導の下に、階級的獨裁が實現されてゐる。もし勞働組合との密接な關係がなく、組合の熱心な支持がなかつたら、黨は二個月半の間でも、況んや二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

個年半の間、全國な支配することは不可能であつたらう。この緊接な關係と云ふのは、實際上には、組合員の間に於ける宣傳、勸誘、會合等、種々複雜の仕事を意味するものであり、更に又、幾分殘存してゐるメンシエヰキが、ブルジョア民主々義を楯に取つたり、組合の『獨立』を說法したり、紀律のサボタージュをそそのかしたり、種々なる反革命的術策を弄するのと戰ふことを意味するものである。

然し勞働組合に依る大衆との接觸の不充分な事は我々も善く知つてゐる。

そこで革命の際に發生した、無黨派的なる諸種の勞働者農民會議に對して、我々はそれを支持し、それを發達させるに努めそれに依つて大衆の氣分を接觸し、彼等の疑問に答へ、彼等の有力なる者を國家機關に入らしめるに努めた。

次に黨の仕事は、もちろんソヴイエットに依つて行はれてゐる。

ソヴイエットは、勞働の種類に關係なく、一般勞働大衆が集合してゐる。ソヴイエットの地方大會は、如何なる進々のブルジョア國にも曾て見たことのないほど民主的な制度である。そしてこの大會に依つて、及び階級意識のある勞働者が絕えず、村落の種々なる職務につく事に依て、都市が農村を指導するの任務を果してゐる。斯くてプロレタリヤの獨裁が行はれ、富裕農民に對する組織的の鬪爭が行はれてゐる。

右が大體『上から』見た所の、プロレタリヤ國家のかゝゝらくりである。我々は之に依て善く次の事を理解して貰ひたい。ロシャのボリシエヰキとしては、充分にこのからくりを呑込んでゐるのだから、そしてそれが廿五年の間、小いさな秘密團體の間から發生したのを見て來て居るのだから『上から』だの『下から』だの、『首領の獨裁』だの『大衆の獨裁』だのといふ事は、總て子供の寢言に過ぎない。それは丁度、左の足と右の手と、どちらが人間に取つてヨリ多く必要かと云つた樣な議論である。

それと同じく、ドイツ『左翼』の主張は、――卽ち、共產主義者は保守的勞働組合にはいつてはならぬ。彼等は職業組合を脫して、全く新たな全く純粹な『勞働者組合』を作らねばならぬといふ主張は、――如何にも幼稚な、無意味な、笑ふべきものと我々に見える。

資本制度は必然的に勞働者の業別を作りだしてゐる。從つて又、職業別の勞働組合を作りだしてゐる。この職業別組合

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

が永ひ間に廣い範圍の產業別組合に發達する。そしてその產業別組合が今度は人間の分業を廢して、何でも出來る勞働者を養成する事になる。然しその目的地に達するのは、まだ〳〵遠い先の事である。我々は空想の材料に依つて新社會を作るのではなく、資本制度の殘した材料を用ひるのである。それは難儀な事に相違ないが、それより外に方法はない。

勞働組合は勞働者の階級組織として一大進步である。但し、最高の階級組織として本當のプロレタリヤ政黨が成立する時、勞働組合は必ず多少の保守的色彩（職業別制限、非政治的傾向等）を示す。けれども、勞働組合の道を取るより外、又勞働組合とプロレタリヤ政黨との相互作用の道を取るより外、プロレタリヤ階級の發達したタメシがない。

凡そ斯くの如き勞働組合の多少の保守的態度は不可避である。それを理解しないのは、即ち過渡時代の根本條件を理解しないのである。この保守的傾向を恐れてそれを避けようとし、飛び越えようとするのは、愚の至りである。それは即ち後れたる勞農大衆を教育し訓練するといふ、プロレタリヤ前衞の任務を忘れたものである。若し又、職業別組合の偏見が全く無くなる時を待つて、はじめて政權を云々すると云ふのであるならば、それは一層の間違である。政策の要は只、いつ如何なる事情の下に、プロレタリヤの前衞が勝利を制し得るか、正確に測定するに在る。

ロシヤ以外の先進諸國に於いては、この保守的傾向が一層强い筈である。そこには勞働貴族（小ブルジョア分子）が、帝國主義者に腐敗させられて、甚だ廣くはびこつてゐる。從つて西部ヨーロッパに於ける、ゴンパース、ジユーオー、ヘンダソン、メールハイム、レギーンの輩に對する鬪爭は、ロシヤに於ける、メンシエヰキに對する鬪爭よりも、遙に多く困難である。然しこの鬪爭を充分に徹底させて、あらゆる日和見主義や愛國社會主義の首領を排斥し盡さない限り、政權の獲得は不可能である。

我々は勞働大衆を味方にすべく、其の名に於いて勞働貴族と鬪爭し、又同じ目的を以て日和見主義者と鬪爭する。この自明な基本的の眞理を忘れるは愚である。然しドイツ『左翼』は即ち其の愚を敢てしてゐる。メンシエヰキや、日和見主義者や、愛國社會主義者は、『勞働運動に於けるブルジョアの手先』である、『資本階級の勞働副官』である保守的勞働組合

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の内部に働かぬといふ事は、即ち後れた勞働大衆を、これらの保守的首領（ブルジョア化された勞働者）に任せて置く事を意味する。

謂ゆる『左翼』が保守的勞働組合不參加論を唱へるのは如何に彼等が大衆獲得の問題を輕卒に考へてゐるかを示すものである。大衆を助けて、その同情と信頼を博し、その支持を得ようとするには、あらゆる非難と侮辱と攻撃と罵詈とを忍んで、苟くも大衆の居る處には、どうにでもして入りこんで働らく事が必要である。そして勞働組合は即ち其の大衆の居る處の團體である。然るに『左翼』は徒らに『大衆、大衆！』と叫びながら、勞働組合の内部に働らく事を拒絶し、新たに純眞な『勞働者組合』を作らうとする。そしてその新組合は廣大なる總括的のものになる筈だ（筈だ！）と云ひ、その加入條件はソヴイエット制度と獨裁制度の承認だけ（だけ！）でいゝと云ふ。

（譯者。日本には、保守的組合不參加論もなく、新組合設立論もないが、然し『筈だ』といふ空虚な理論の爲に、及び『だけ』といふ値からしい（實は大きな）要求の爲に、不參加論や新組合論に似た樣な事に落入つてゐる場合がないとは限らないだらう。）

これ以上の馬鹿さは殆んど想像が出來ない。既にブルジョアを征服してから二個年半になるロシヤに於いてすら、『獨裁』の承認を條件として勞働組合への加入を要求したなら、それは甚だしい愚擧であり、大衆に對する我々の勢力を損傷するものである。我々は只だ後れた大衆を說得すべきであり、彼等の間に働くべきであつて、彼等と我々との間に幼稚な『左翼』的なスローガンの垣を作るべきでない。（大衆！大衆！と呼びながら、實は大衆との間にスローガンの垣を作つてゐる場合が日本にないとは限らないだらう。）

思ふに、ゴンパース、ジューオー、ヘンダソン、レギーンの輩は、ドイツの『原則的反對派』や、アメリカのI・W・W・の樣な『左翼』革命家に對して、大なる感謝を拂つてゐるだらう。實際、日和見主義の首領連は、政府に訴へ、僧侶に訴へ、警察に訴へ、裁判所に訴へて、あらゆる迫害と罵詈と侮辱とを以て、共產主義者の勞働組合に參加することを拒絕するだらう。我々としては、あらゆる犧牲を拂ひ、あらゆる方策を用ゐてそれに對抗し、どうにでもして勞働組合に入りこむ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことが必要である。ロシヤの帝政時代に於いて、我々は一九〇五年まで勞働組合の合法性を持たなかつたが、秘密探偵のツバトフが御用勞働團體を作つた時、我々はその團體にも我々の黨員を送つた。(私はその一人なる、ペトログラードの有力な勞働者バブシユキンを記憶してゐるが、彼は一九〇六年ツアールの將軍から射殺された。)實際、ゴンパースや、ヘンダソンや、ジユーオーや、レギーンは、文明的の服裝をしたツバトフに過ぎない。

ブルジョア議會に參加すべきか

ドイツ左翼共產主義者は此の問に對し、甚だしい輕蔑を以て、而も甚だしい輕卒を以て、否と答へてゐる。彼等は前に記す通り、『歴史的および政治的に時代後れの鬪爭形體たる、議會政治に跡戻るべきでない』と云ふ。

これは隨分いゝ氣になつた言草で、明らかに間違つてゐる。先づ『議會政治に跡戻る』とは何んだ。ソヴイエット共和國が既にドイツに存在してゐるとでも云ふのか。眞逆。然らば『跡戻る』などとは全くの空言でないか。

議會政治が『歴史的に時代後れ』になつた。宣傳としてはそれで宜しい。然し實際問題としては、まだ中々遠い話である。資本制度は既に數十年前に於いて『歴史的に時代後れ』だと云つて差支が無かつた。けれども今日猶、資本制度に對する甚だ永い、甚だ烈しい鬪爭が必要である。世界歴史的意義からすれば、議會政治は如何にも『歴史的に時代後れ』である。然し世界歴史としては、數十年が一期である。十年や二十年早いか晩いかは、問題にならない。だから政治上の實際問題としては、世界歴史的の見地に立つ事は大間違である。

然し議會政治が『政治的に時代後れ』だと云ふのならば、それは又別の問題である。若しそれが眞實であるとすれば『左翼』の立場は甚だ強いものになる。然しそれが決して眞實でない。

第一、ドイツ『左翼』は一九一九年一月にも、ルクセンブルクやリーブクネヒトの樣な有力な首領に反對して、議會政治が既に『政治的に時代後れ』だと考へてゐた。今では、それの過失であつた事は明瞭である。然らば今日、それが過失

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

でなくなつてゐるかと云ふに、彼等は少しもそれを證明する事が出來ない。凡そ政黨として、自己の過失に對する態度如何は、その黨のまじめさを示すべき、最も重大な證據の一つである。公然と自己の過失を承認し、原因を暴露し、それを生ぜしめた事情を解消し、熱心にその矯正方法を研究する。――それがまじめな政黨のシルシである。それが政黨の義務を果す所以であり、それが全階級を、從つて又一般大衆を、教育し訓練する所以である。ドイツその他の『左翼』がそれを爲し得ないのは、即ち彼等が階級黨でもなく、大衆黨でもなく、只だ少數の智識階級者と、智識階級の最惡の特質を眞似る少數の勞働者との一群に過ぎない事を示すものである。（譯者。自己の過失に對する黨の態度の問題は極めて重要である。このレーニンの教訓を守ることは甚だツライ場合があるだらうが、それが守れない樣では、黨のマジメさは無くなつてしまう。）

第二、前にも引用したパンフレットの中に、又こういふ一節がある。『幾百萬の勞働者が今でも猶ほカトリック中央黨の政黨に從つて反革へ的である。農村プロレタリヤは反革命の大軍隊を作りだしてゐる。』

これは可なり誇張された言葉だが、然しその根本は正しい。然らば、プロレタリヤの幾百萬の大軍隊が議會政治を支持するばかりでなく、更に反革命的であると云ふ時、どうして『議會政治が政治的に時代後れ』であり得るか。ドイツの議會政治は、明らかに、まだ政治的に時代後れでない。從つて『左翼』は、自分の希望自分の思想的政治的態度を、客觀的の現實と誤認したのである。これは最も危險な過失である。我々はロシヤで、ツアールの殘虐な專制政治の下で、各種各樣の革命運動が、最も熱烈な最も悲壯な狀態で起つたのを見て、その間に右の過失を最も近く最も注意深く觀察してゐるので、それが爲、他國の革命運動の過失が善く我々の目に見えるのである。（譯者。自らの希望、自分の態度を、客觀的の現實と誤認して、最も危險な過失を犯した場合が、我々自身の記憶にも幾度かある。）

ドイツの共産主義者に取つて時代後れであるものが、必ずしもプロレタリヤ階級に取つて、一般大衆に取つて、同じくそうであるとは限らない。我々が大衆のレヴエルに降る、後れた階級層の水準に降る、と云ふのでない事は無論である。然し彼等に有りの儘の眞實を語る事は、我々の義務である。彼等の有する、ブルジョア民主々義的の偏見、議會政治的の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

偏見を指摘する事は我々の義務であるが、同時に又、全階級の、一般大衆の、自覺と成熟との實狀を冷靜に觀察する事は、亦た我々の義務である。

第三、左翼共產主義者は隨分よく我々ボリシエヰキを賞讃してくれる。然しそんな賞讃はモット少なくして、その代り、モット善く我々の戰術を學んで貰ひたい。一九一七年の九月から十一月までの間、ロシヤのボリシエヰキは、西部ヨーロッパの如何なる共產主義者よりも、ロシヤの議會政治を時代後れと考へるべき、ヨリ多くの權利を持つてゐた筈である。當時、ロシヤの勞働者も、兵士も、農民も、特殊事情の續出の爲、確かにソヴイエット制度を受入れる準備を持つてゐた。それでもボリシエヰキはまだ憲法議會をボイコットせず、政權獲得後までも其の選擧に參加した。そしてその結果は、革命的プロレタリヤに害を與へなかつたばかりでなく、何ゆゑそうした議會が解散されねばならぬかを、たやすく後れた大衆に示す事になつた。そして實際上、ブルジョア議會を時代後れとする、その過程を促進した。

次に『オランダ左翼』の議論を少し考へて見る。彼等は云ふ。『資本制度が崩壞して社會が革命狀態になると、議會的活動は大衆その物の活動に比べて、次第に其の重要さを失つて來る。そうした事情の下に、議會が反革命の中心となり、機關となり、そして一方に、勞働階級がソヴイエットの形を以て自分の權力機關を作りだした時には、議會的活動に對する一切の參加を拒否する事が必要にさへもなる。

右の第一節は明らかに間違つてゐる。大衆の活動は平生でも重要である。兎にかくこの間違つた議論は、合法的および不合法的の鬪爭形體を結合する事の重要について、一般ヨーロッパの、及び前記ロシヤの、經驗を無視したものである。今やブルジョアとプロレタリヤとの衝突がいよ／＼激烈となり、各國とも共產黨に對する不法の迫害が續出しつゝある時、『オランダ左翼』は全く此の重要問題を理解してゐない。

第二節は、先づ歷史的に間違つてゐる。我々ボリシエヰキは最も反革命的な議會にも參加した。そしてその經驗の結果斯樣な參加が黨の其後の發展の爲に、有益である必要である事を示した。次に此の一節は甚だしく非論理的である。議會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は反革命の『中心』に成つた事がなく、又決して成り得ないものであるが、それは姑らく置き、議會が反革命の機關と成り、勞働者がそれに對してソヴイエットを作つた場合には、議會の解散を迫る事は當然であるが、然しその時、反革命議會の内部にソヴイエット側の反對派が存立して、それが爲、議會の解散が一層困難になるといふ理由がない。一九一八年一月五日のロシヤ憲法議會の解散は、その内部にソヴイエット側の反對派として、徹底的態度のボリシエヰキと、不徹底的態度の左翼社會革命黨とが、並び存してゐた爲に、寧ろ一層容易であつた。

凡そ新らしい政治思想を、(政治思想ばかりではないが)、それを甚だしく災ひするものは、それを擁護すると稱しながら、實はそれを無茶理屈にこねあげる事である。如何なる眞理も、チーツゲンが云つた樣に、それを極端に誇張して、實際的應用の範圍外に及すならば、必ず無茶理屈に落入る。ドイツ及びオランダの『左翼』は、熱心の餘り、遂にソヴイエットの新思想に大害を與へた。但し如何なる場合にも議會ボイコットはいけないと、昔し流の十把ひとからげに論ずる事は、もちろん間違である。ボリシエヰキの經驗は、ボイコットの正しい適用が一回(一九〇五年)、間違つた適用が一回である。

西部ヨーロッパ、及びアメリカに於いては、議會は勞働階級の革命的分子から特別に嫌惡されてゐる。戰時および戰後に於ける、社會黨議員の大多數の裏切的行動を思へば、これは實に當然の事である。然し、如何にして此の一般的に知れわたつた害惡と戰ふかといふ問題に對した時、そんな氣分に動かされる事は、實に大いなる過ちである。西部ヨーロッパの諸國に在つては、革命氣分は寧ろ一種の『珍らしいもの』である。永いあいだ少しは浮氣なジレ〳〵した心持で、待ち設けてゐた所の『珍事』である。それ故、人は一層容易に、この氣分に動かされるのかも知れない。勿論、大衆の間に革氣分が生じてゐないでは、革命戰術は決してその效果を奏しない。然し我々は、永い、苦しい、血みどろの經驗から、單なる革命氣分に依つて革命戰術を立てる事の不可能を確信してゐる。(譯者。前號トロツキーに關する批評の中に、『言葉の上の氣分本位が、やがて行動の上の氣分本位になる。』とあつたが、こゝの氣分論と全く照應してゐる。)

單に、議會政治の日和見主義を屈倒し、議會參加を拒否する事に依つて、自己の主義を宣言するは極めて容易である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

只その容易なるが爲に、それは決して難問題の解決策にはならない。

一九一七年のロシヤには特別の事情が存在した。

（一）勞働者と農民とを極度に疲弊させた帝國主義戰爭の終結と、ソヴィエット革命とを結合し得た事。（二）暫くの間、帝國主義諸國の間に於ける二派の闘爭を利用して、彼等のロシヤに對する提携的對抗を妨げ得た事。（三）國土の廣大さ、交通の不便さが一部分の原因となつて、可なりに永い內亂に堪へ得た事。（四）農民の間に深刻なブルジア民主々義的革命運動が存在してゐた爲、プロレタリヤ黨がそのプログラムの中に農民黨（社會革命黨）の革命的要求を取入れて、直ちにそれを實現させえた事。

然るに西部ヨーロッパには、こうした特殊事情がないので、その將來の事業は一層困難でなければならぬ。然しその困難を避ける爲に、保守的議會を利用するといふ困難な段階を飛越えようとするのは、純粹なる子供らしさである。新社會を作り出さうとする程の者が、反動議會の內部に健全にして、勇敢なるプロレタリヤ群を作るくらいの困難を恐れるとは何事だ、カルル・リープクネヒトは即ち反動議會利用の實例を示してゐるではないか。（譯者。前に云ふ通り、日本には今のさろアナキスト以外、議會利用に反對するものは無い樣だが、左傾分子が勞働農民黨から排斥されかけてゐる折柄、氣短い輕卒なボイコット論者が出ないとも限らない。）

ドイツ『左翼』は、黨內の惡『首領』を罵倒し、失望の餘り、遂に『首領否認』云々の愚擧に出でて居る。然し、時として『首領』を驗す事が必要になり、信頼すべき『首領』を見定める事が極めて困難な場合、議會に於いて『首領』を鑑定する事も一策である。嚴酷なる批評や攻擊は、議會政治と議會政策とに向けらるべきでなく、選擧と議會の演壇とを巧みに利用し得ざるプロレタリヤ議員等に向けらるべきである。斯くて首領自身も訓練され、一般大衆も教育されるのである。（譯者は右の反譯につき、茂森唯士氏の譯書を參考した。そして茂森本の中、抹殺されてある箇所に注意し、その字句には筆事を觸れぬ事にした。讀者諸君も、政府の檢閲方も、宜しく御諒承ありたし。）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロシア革命の同伴者 ピリニヤーク

秋田雨雀

目下在京中のロシヤ作家ボーリス・ピリニヤーク氏は日露藝術協會の人達と度々會ふ機會を持つたので、私はこの作家に關する斷片的な報告をして置きたいと思ふ。

ピリニヤーク氏は私の知る限りでは、革命後に於ける最も大なるそしてまとまつた評價を得てゐる人であるらしい。

こんど一所に日本へ來る噂のあつたフセワロード・イヴノフと共に、ロシヤに於ける藝術的な新らしい光と云つてもいい人である。日露藝術協會員達の報告によると、トロッキーがピリニヤーク氏を評して「鮮かな目と、いゝ耳とをもつた、優れた觀察者であつて、若しも彼れの藝術を今日のロシヤから失ふならば、私達もおそうく幾分か貧しくなるであらふ。」と云つたそうであるが、ピリニヤーク氏は所謂純然たるコンミニストでもなければ、公式のプロレタリヤ作家ではない。然し、如何にロシヤの現在の人民に愛され又ロシヤの政治の統率者にも好感を持たれて居るか、よくわかる樣な氣がする

○

ボーリス・ピリニヤーク氏の人生の見方には可なり鋭いものがある樣である。あらゆる階級の中から人間の本能まで堀りあけて行かうとする樣な努力は、どんな作物の中にも短かい文章の中にも私達と話してゐる短かい言葉の中にもよく現はれてゐるのである。勿論ピリニヤーク氏はインテリゲンツイヤの出であるためもあらふが、「イワン・ダ・マリヤ」等を見ても氏が如何にロシヤの歴史、社會的變遷、革命の本質、ロシヤ民族の特質等に對して、鋭利な知識的批判をなけてゐるかがわかる。ピ氏に就いて私は勿論詳しく知つてゐるものでは無いが、それでもこの人の書いたものを通じてこの人を考へると、そこには絶えず人類の先驅となつて行くであらふと思はれる、最もいゝ意味での一個のインテリゲンツイヤの裝を見ることが出來る。ピ氏の樣な革命當時に一個の學生に過ぎなかつた人々には、革命に對してもその後の施設に對し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ても批評的な態度に出るのも又當然だと云はねばならない。その樣にして初めて社會は絶えず新しい行程を歩むことになるわけだからである。

○

革命同伴者と云ふ言葉をロシヤ文學の研究者はよく云ふ、又ピ氏自身も云ふてゐるのであるが、この革命同伴者と云ふものゝ性質には一つの惱みがあると同時に、革命の支持者に持たれてゐない樣な、自由な批評眼がある樣である。我々は革命後のロシヤの生活を知る上に於て、革命の支持者と思はれる人々よりも、革命の同伴者によつて知る方が一層便利である場合が多いと思ふ。これが私のピ氏に持つ一つの興味でもある。それでも讀んだ人がわかる樣に、彼の代表作だと云はれてゐる「イワン・ダ・マリヤ」は革命後のロシヤを一度粉々に打壞はしてしまつて、それを彼一流のコンストラクテビズム(構成主義)に依つて組合はして行つたものである。今迄の一般の小說と全く形式も思想も異にしてゐるものである。例へば、或頁は普通の形式で文字を並べて行くけれども、その次ぎの頁では文字を幾段も下げて組んだり、時としては文字をズット大きくして見たり色々な試みをしてゐる。しかもそれで全體が渾然とした藝術品になつてゐる。こう云ふ形式に就いて初めから毛嫌ひする人は別であるが、私達には單に形式の上からだけでも非常に面白く思はれる、しかもこの形式を取る人には避けることの出來ない必然性をもつてゐるものと思ふ。

「裸の一年」の樣なものも、これは「イワン・ダ・マリヤ」よりも一年程前に書かれたものらしいが、又この描寫は「イワン・ダ・マリヤ」よりも形式の特異性はないけれども、それでも尙從來の自然主義風の描寫からは解放されたものである。こう云ふ文學上の形式等に關しては私はロシヤ文學の研究者でないから詳しく述べることは避けたい。然し新らしい時代の藝術はその時代に伴ふて新らしい表現樣式をもたなければならないと云ふことをこの人の作物等によつて一層痛切に感ぜさせられる。

○

ボーリス・ピニヤーク氏は革命第一年にはモスクバの高等商業學校(今のカール・マルクス紀念國民經濟學院)に通學してゐたらしい。革命が起つてから彼は商人として、方々へ歩いた。或時は、チエッコ・スロバキヤの兵隊を避るために

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

汽車の屋根に乗つて遁げたこともあつた。一九一九年に、コロムナと云ふ所で十二、三の短篇小説を執筆し、同年に「藝術宮」の一創立委員となり、又「全露著作家同盟」の會員にもなつた。一九二〇年に國立出版局の許可を得て「雑草」を出版し、シムビリスキー・マモントフ近くで道を遮られ、數百露里の間を乞食をしながら逃げ廻つたこともある。一九二〇年の秋には工場、鑛山その他色々な工業土地を視察して、あらゆる勞働者の生活に接した。そしてこの年に「裸の一年」を書き初めた。この年ピ氏は長篇小説をマキシム・ゴーリキイに見せ、春ペテルグラードに行つて初めてゴーリキイの家に泊つた。この夏コロムナで「イワン・ダ・マリヤ」その他の作物を脱稿した。一九二二年にロシヤ共和國の旅券をもつてドイツに行つた。一九二三、四年に英國を訪ね、英國に關する觀察を書いた。そして一九二六年に私達の所に遊びに來たのである。

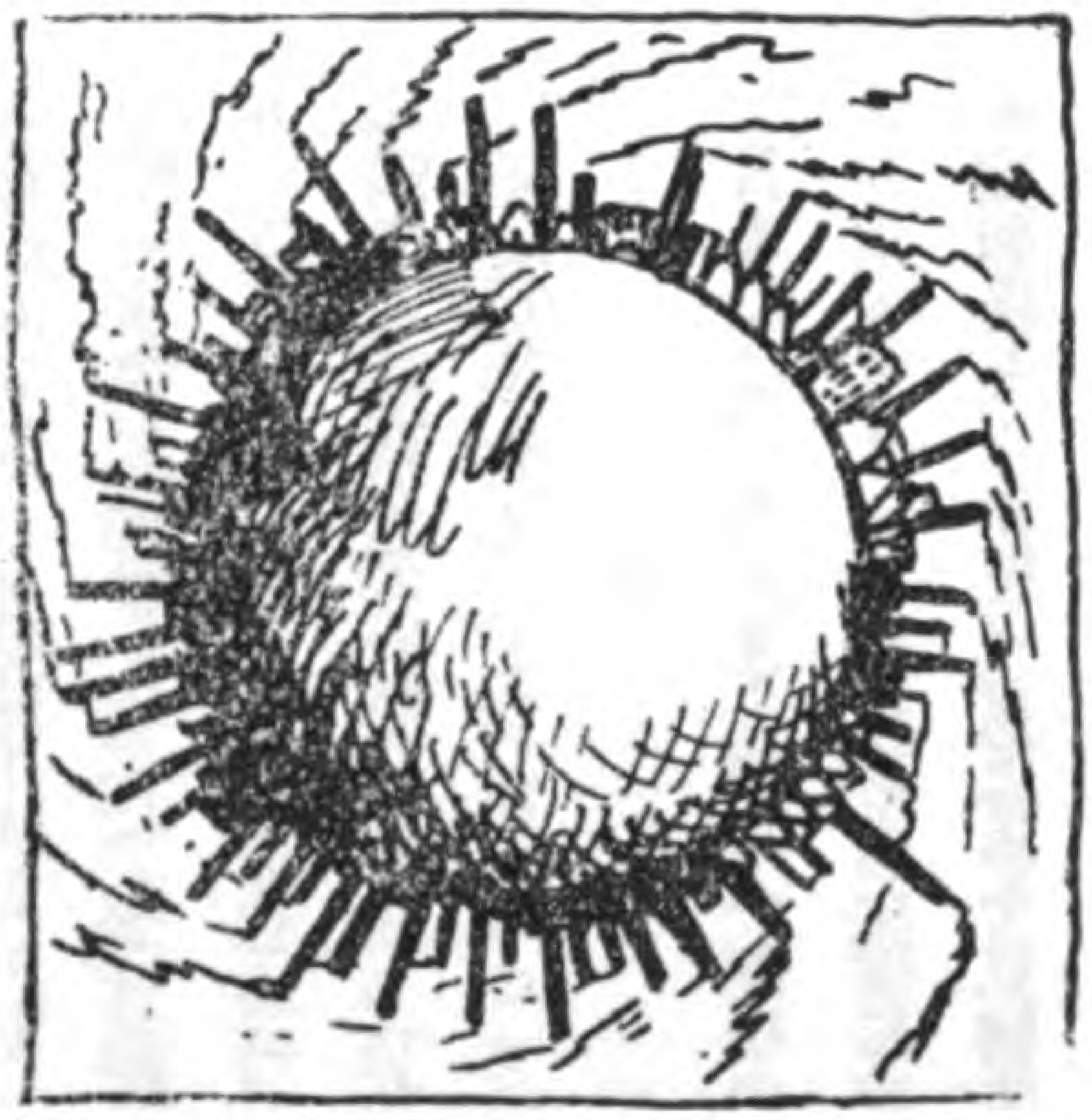
○

日本には、モスコー國立小劇場の俳優をしてゐる夫人のオリガー・ピリニヤクさんと一所に來、築地小劇場、歌舞伎座帝國劇場その他種々な芝居を見物する傍ら、日本の作家の作物を集收し、そしてその間の觀察を朝日新聞その他で發表した。ピ氏の日本に關する觀察は民族の精神を探求してそこから日本人の將來に對して一つの警告を發しようとしてゐるらしく私には思はれる。これは日本は西洋文明に心醉して自分自身の持つてゐる特有の文化を失ひかけてゐると云ふこと、そしてヨーロッパの現在の文明、即ち資本主義文明、機械文化と云つた樣なものが、もはや行詰りになつてゐる、そう云ふものから人類が解放されなければならぬ、この使命はむしろ今日のヨーパロッパにあるのではなく、東洋、ことに日本人にあると云つた樣なことを云はふとしてゐるらしい。

私達も勿論ピ氏のこの意見に對して反對するものではない然しピ氏の見る樣に日本はその純新なものを失はないでゐるかどうか、或は現在の日本からそれを發見することが出來るかどうか、それは可成り疑問だと云はねばならい。

私はいつかピリニャーク氏に會つた時に「あなたは日本へ來て日本自身のものを發見しようと思へば、恐らく厚い土の屑を堀り返さねばいけないでしよう」と云つたことがあつたおそらく鋭敏なピリニャーク氏は日本の現在の國情はどんな狀態になつてゐるかと云ふことを、やがて知られることがあるであらふと思ふ。（四月二十一日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



インターナショナル・ノート

共産黨インターナショナル擴大執行委員會

二月十七日からモスコー、クレムリンに於て、共產黨インターナショナル擴大執行委員會が開かれた。コンミッションは政治勞働組合、東方、英國、佛蘭西、米國、スカンヂナビア、計畫、資格審査である。日程の豫定の中には、英國勞働運動最近の經驗東方諸國の問題、佛國共產黨、米國勞働者黨、スカンヂナビアの諸黨の問題、第六回大會までの期間に於ける、活動計畫等がある。

波蘭共產黨第四回會議

昨年十二月に波蘭共產黨の第四回會議が開催された。勞働者の氣勢を殺かれたことと、不合法的存在の困難さからして生じた極左的傾向に對して決定的に鬪爭したことは其唯一の成績である。此極左的傾向は偶然であると云ふ見解と、一定の原因を有すると云ふ意見とが現れたが、後者が勝利を得た。インターナショナルの各部の極左分子支持も改められた。と同時に、將に到來せむとする危機を前にして、右翼に對しての鬪爭が行はれた。勞働組合及農民團體の獲得並に兩者の結合の問題、黨活動組織上の問題も注意された。

佛蘭西共產黨の分派

佛國共產黨內部に於ては、最近日和見主義的な右翼的反對派の擡頭が現れ、是に對する鬪爭が黨自身によつて行はれ、又同時にインターナショナルの問題ともなつた。現在は大體に於て終末を告げて居る。此鬪爭は共同戰線遂行の爲と、最近まで、微弱であつた日和見主義的中心が黨內に於て漸次勢力を增大せんとした事情に依りて必要とされた所のものである。

然らば、斯る右翼反對派發生の原因は何か

(1)佛國勞働階級の左翼的傾向が增大したが、共等は直ちに共產黨の增大を來さなかつた。反對派は黨指導の不能を難し、健全ではあるが、自黨の足らざる黨員を少なからず引附けた。

(2)實際は一種の右翼であるが、極左傾向の萠芽が黨內に存在したことである。一九二三年以來黨內にありて、右翼多數派に抗爭したる「左翼」は、必要ではあるが、時の經過と共に黨に取つて好ましからざる鬪爭形態及習慣をも發生せしめた。昨年夏モロッコ戰爭反對時代に於て極左的傾向を示した政策を採り、黨內に於て中央集權を擴張するに止らず、共同戰線の戰術を機械的に遂行し、勞働組合活動を顧みざるか、或は形式的に遂行し、是等の形態に固着した結果、黨員及活動部門內部に多少の不平を勃發せしめた。此不平は工場細胞にある再組織の困難によりて助長せしめられた。反對派は此等の無理ならざる不平を自己の爲に利用したのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上の如き原因による反對派は、其自身に幾多のグループを含み、彼等の綱領の如きも、着實なる批評と完全な日和見主義の混合體なるが如き觀を呈して居る。反對派の內容を爲すグループは左の如くである。

（一）反對の指導的中心であつて、除名されて、全然黨の外部に立つ、スパリン、ロスマー、モナットのグループ、「レボルシオン、プロレタリアンヌ」「ブルタン、コムニスト」の二機關雜誌並に多數のパンフレットを發行するもの、

（二）以前の黨の有力な機關の構成分子であり、以前の黨の上層を代表し、黨の政策に理解を有せざる、ロリオー、ジュノア、ドスのグループ、

（三）訓練なき黨機關の一部の分子

（四）以前の勞働組合の機關を構成した一部の分子

（五）下級機關並に一般黨員の一部の分子である。其の右翼の分派としては最初の二つを擧げ得られるのみである。然し總同盟罷業以來形勢は變化して、反對派は擡頭して行つた。十一月に入つて黨は熱心なる自己批判に依つて、指導權を極左分子から取戾した。十二月に入つて中央委員會は、黨員に向つて公開狀を發した。右翼派は自己の孤立を恐れて、熱烈なる攻擊を開始した。反對派は公開狀に對する反對を發表した。そして、初めて此反駁文に依りて反對派の眞性質を明白にすることが出來たのである。同志ドリオーは、黨外にある機關紙に協力することを禁じ、スヴァリンの復歸の計畫を排除するインターナショナルの電報を發表し、又「ブルタン」の協力者に最後通牒を發した。又公開狀反駁の署名は詐術によつて多數の黨員を獲得したことが發見された。斯の如くにして反對派の自己の下に多數黨員を引附け、黨指導に反對せんとする企圖は怪敗に終つた。一時は反對派によつて迷はされた一部も黨の指導に服して熱心に活動することとなり、一方、黨は其の方針を「戰時共產主義」の殘黨から純化し得るに至つた。反對は黨のボルシエビキ化の途中に起つたもので、反對派は細胞組織の撤回を主張し、黨は此右翼的傾向に對して鬪爭することに依りて、黨內組織を打立て得ると云ふ結論に達したのである。（井上生）

極東革命委員大會

第一回極東ソウエート大會は本年三月十五日、ソウエート憲法に基いて、ハヾロフスクに於て開催された。大會には極東各方面に於ける工場勞働者、農民、移住民及土着民の代表者が、それぞれの報告を齎し參集した。參加代議員の數は三百十八名である。ソウエート中央委員會を代表しスミドウキッチ氏、極東ソウエート委員會を代表しガマルキン氏等の、完全に赤色化したソウエートロシアの事情、並に極東ソウエートロシヤの事情に關する報告があつた。

就中右極東ソウエート委員會の報告は極東に對する帝制時代の政策と、ソウエートの政策とを比較し、其處にソウエート政策の特色を示したものであつて、大要は次の如くである。

『帝制政府は、極東露西亞に對して、特に之れを戰略上の見地から重視したのである。即ち太平洋沿岸に於ける黃禍に備へるべく、ひたすら此處に軍事上の勢力の扶植に就て腐心したのである。彼の帝制政府が極東に投じた莫大な金額は要するに、浦鹽斯德の要塞を堅めること、宏大な軍會を建設する

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

こと。完全なる陸軍の武裝、等に殆んど消費されたのであつて、その極めて僅かの餘りが產業方面に投じられたに過ぎない。其結果は帝制五十年間膨大なる豫算の內產業方面に繰込まれたものは、僅かに共一、五パーセントで、帝制の五十年間極東露西亞は不足豫算の補充として十億金ルーブルの援助を本國政府より仰いで居つたのである。

日露戰爭に於て帝制政府が消費した金は實に二十億留である。之れに加ふるに更に六億留が東支鐵道につぎ込まれてゐるのである。こうした莫大な金が、非生產的目的の爲めに極東に注入されたのである。こうした軍國主義の治下に於ては、農業も、地方財政交通事業も、移民事業も一切は上げて軍事費の犧牲となるのである。極東露領が地上に於ても、地下に於ても極めて豊富の元產物を擁してゐるにも拘はらず、殆んど放任されつゝあつたのである。

之れが即ち帝制露西亞から殘された遺產である――この遺產は加ふるに革命戰によつて全く破壞されたそのまゝのものであつた――新しい極東ソウエートは文斷通り、「古きものの潰滅した」基礎の上に、新使命を開拓したのである。

新極東政府の根本的特色、それは帝制政府の政策の上に築かれた一切の帝國主義的政策の排除にある。國民の全勢力を上げて之れを經濟復活に向つて導き、極東に於ける經濟的基礎を强固にすべく、生產業を發展せしめるにある。

極東露西亞は人口が稀薄で、總數百六十萬を數へるに過ぎない。而かも、こゝには殆んど無盡藏の天產物がある。これに對する調査は未だ不充分であるが、その發表された所に據れば、五十萬プードの金、三百萬噸の石炭、九百萬噸の鐵礦石、七十萬プードの銀、數十萬噸の亞鉛及鉛、サハリンに於ける多量の原油を地下に埋藏してゐる。なほこの外木材、魚類等の極めて豊富な天產物をもつてゐるのである。

これ等天產物の開發並にそれに基く製造事業の發展は、僅かに時の問題である。而かも之れに加ふるに、これ等の物資の賣り捌き市場、例へば支那、日本等が手近にあることを考慮するならば、極東露西亞の將來の生產業の發展は期して待つべきである。

これ等のことに關しては、目下着々研究されつゝあるが、最近三ケ年間に政府の手にて爲し遂げられた事業は少なからざるものである。この極めて僅かな期間に於て、政府（極東ソウエート政府）は、たゞに產業を著しく發展せしめたのみならず、それをして、新らしい社會主義の基礎的事業に導いて來たのである。

農村經濟

農村經濟は、その根本的な缺陷の調節されると共に、現在に於ては、從來の氣候の支配を超越して、新らしい、發達した生產業（例へば、米作及豆類の栽培事業）が發達しつゝある。しがれども、極東地方に於ける、こうした方面の產業が未だ十分な發展の域には達しては居らず、年々滿州方面より約七百萬プードの青物類を輸入してゐるのは事實である。政府の農村經濟に對する政策は、原料品をして、努めて之れに製造加工を施す方法を與へること、牧畜事業を發展せしめること、トラクター等の機械を農村に輸入すること、農業技師を派遣すること、貧農と中產階級との提携、並に目下極東地方の各方面に波及しつゝあるコペラチーフ（消費組合）運動に向つて農民を團結せしめること等あらゆる方法に據つて農民の經濟的生活の安定策を考慮しつゝある

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

生産事業

生産事業の方面に於ては同様その發達の跡は著しいものがあり活動の實際的智識に於ても、生産方法を改造する智識に於ても大いに進歩を示してゐる。戰前（一九一三）當時のそれに比較するも大體に於ては今日既に、當時の六〇パーセントの域にまで達してゐる。

しかし、或種の生産事業、例へば炭坑事業の如きは戰前に比較して一三八パーセントを示してゐるものさへある。

内亂當時に全く破壊された工場は、爾後順次復活し來つたのである。例へば浦鹽斯德に於ける張木細工工場の如きプラゴエシエンスクの國立燐寸工場の如き、スパスカのセメント工場の如きそれである。なほ近く沿海州に一大製糖工場が設立される筈である。

極東地方に於ける大事業は何と云つても林業と漁業である。林業も、漁業も帝制時代に於てはその、無計畫的な放慢政策によつて、濫獲されつゝあつたが、ソウエート政府は、先づ第一に、この點に大制限を加へ一定の計畫の下に順次に天然資源を開發するの方針である。特に漁業方面は日本の資本が支配しつゝあるが、これは、財政の必要上からの變則的なものであり、ソウエート政府自からの資本によつて日本の支配から脱することの出來ることの近き將來に在ると信ずる。

産業組織

産業組織は根本的に變革され、次の如きトラストが組織された。「ダリレス」國立林業、「オカロ」、漁業會社の合同したもの）「ダリソロト」、國立採金業、「プリム、ゴリ」、沿海州國立炭坑）

金融

金融狀態も順調である。曾つて極東は外國紙幣によつて、支配されてゐたが。今日に於ては完全に回收された。極東に於ける經濟狀態の發展につれて準備積立金も年と共に增加しつゝある。

國民教育

國民教育は廣い意味のデモクラチックの原則に立脚してゐる。普通の小學校以外に更に各部落に假校舍を設け、學齡に達した兒童に課外教授をなし、外國居住民の兒童に對しては、彼らの國語を以つて教育しつゝある。

以上この重大なる事實は、ソウエート政府が三ケ年餘りの日月の間に成し遂げ來つたところのものである。あらゆる地方に於ける國民生活の安定しつゝある事實、それは新集團的社會主義國家の基礎である。

極東ソウエート政府の前途には新時代の經濟的發展の分野が展開し、第一回極東ソウエート大會を以つて極東ソウエート政府は、極めて建設の根本進路―極東に於ける大規模の工業化運動―を、はつきり裏づけられたのである。」

大會は七十五名の中央執行委員を選出し三月二十三日閉會した。

（四、一八、S生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

唯物辯證法斷想

青戸四郎

「凡て從來の歷史は階級鬪爭の歷史である」（マルクス、共產黨宣言）

「有產者的生產關係は社會的生產關係の最終の敵對的形態である！有產者社會の胎內において自ら發達する生產力は同時にこの敵對狀態の解決にたいする物質的條件を創出する」（マルクス經濟學批判序）

有產階級と無產階級とは、二大敵對陣營に分裂してきた。有產階級はかつて、封建的支配階級を掃蕩するの役割を演じた。いまや無產階級が逆に有產階級を掃蕩せんとするの條件が熟してきた。封建的支配階級を犧牲とすることによる有產階級の勃興、有產階級を犧牲とすることによる無產階級の獨裁、資本主義的搾取階級の、鬪爭を通じての、必然的勃興およびその必然的沒落、

現實はまさにかくのごとくに展開する。

かゝる現實の展開はもつとも明快に無產階級の意識過程に反映してくる。

かゝる無產階級意識形態の純粹な形態はマルクス主義、レーニン主義であり、そのマルクク主義の核心は唯物的辯證法——戰鬪的唯物論革命的辯證法——これである。

私はこゝに次の二點をのべる。一は、唯物的辯證法の重點たる「矛盾」について。二は唯物的辯證法の特徵たる「實踐」について。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

（一）矛　盾

「その合理的の體容においては、辯證法は、現存事態の肯定的理解のうちに、同時にまた、その否定の、その必然的の沒落の理解をも包含してゐる、凡ての生成されたる形態を運動の流において、したがつてまたその無常的方面より理解する」（マルクス資本論、第一卷、第二版跋）

現存事態の肯定的理解のうちにその否定的理解をも包含する。凡ての生成されたる形態を運動の流において理解する。換言すれば、凡ての世界の進行を自己運動において認識する――こゝに唯物的辯證法の樞軸がよこたはる。

しからば、凡ての世界の進行を自己運動において認識するの條件は如何に。――それは世界の進行を對立物――矛盾物――の統一として認識することである。レーニンは曰ふ、

「凡ての世界の進行を『自己運動』において、自發的發展において、活き活きとした實在において、把握するための認識の條件は、それらをば對立物の統一として認識することである。發展は對立物の『鬪爭』である」（レーニン、マルクス主義の旗の下に、第二號收錄）

こゝに要點がある。

自然および社會の一切の現象を通じて、矛盾的對立關係が支配してゐる。例へば、數學におけるプラスとマイナス、微分と積分、力學における作用と反作用。物理學における陽電氣と陰電氣、化學におけるアトムの結合と解離。社會科學における階級鬪爭。これである。

かゝる對立物の統一。統一の分裂。鬪爭による發展。より高度の統一への止揚。統一と鬪爭との不斷の反復。これ、自然および社會の一切の現象における通則である。されば、有產階級と無產階級との階級鬪爭を通じての、有產階級獨裁より無產階級獨裁への推移。階級的資本主義社會より無階級的共產主義社會への飛躍。それは必然である。

現實は辯證法的に展開する。辯證法的に展開するところの現實を、歪めることなく正しく理解せんがためには、その思

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

考の展開形式もまた辯證法的でなければならぬ。唯物的辯證法が唯一の科學であるのはその故である。レーニンが「マルクス主義理論を通じて、吾々は常に客觀的眞理に近づく」といへるはこの爲である。

(二) 實　踐

「哲學者は世界をたゞ色々に解説したゞけであつた。だが肝要な問題は、世界を改變することである。」「人間的思考に對象的眞理が到達するや否やの問題は、決して理論の問題ではなくして、實行（實踐）的な問題である」（マルクス、フォイエルバッハ論綱）

「生活と實踐は認識論理が考察さるべき基本的視角である。」（レーニン、唯物論と經驗批判主義デボーリン引用）

解説と改變。理論によりて指導せられた實踐、實踐によりて實證せられた理論、理論と實踐――こゝに唯物的辯證法を爾余一切の哲學理論から區別するところの特徴がある。唯物的辯證法は世界の解説理論の基本たるにとゞまらず、實に、社會の革命戰術の基本たるものである。

しからば、無産階級の意識形態たる唯物的辯證法が實踐を特徴とするに至りしところの社會的理由は如何に。――それは無産階級のみが、唯一の生産階級――本來實踐的階級――であるから。

有産階級は無産階級を搾取せんがために、これを唯一の生産階級、唯一の實踐的階級へと陷れた。おかげで當の無産階級は唯物的辯證法――搾取條件撤廢の理論と實踐との唯一の統一物――を獲得した。有産階級は無産階級に搾取の鐵鎖を課した。無産階級は、自己の鐵鎖を斷ち切るとともに同時に一切の鐵鎖を斷ち切るべき理論と實踐との唯一の統一物、革命的辯證法を獲得した。

唯物的辯證法は有産階級にとつて一個の「凌辱」であり一個の「恐怖」である。けだしそれは「本質上批判的であり革命的であるから。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

我國に於ける メーデーの初め

◇こも〳〵我國に於てメーデー記念の會合が催したのは明治三十八年で、幸德、堺氏等によつて發行されてゐた有名な平民新聞の社で開かれたのであつた。當日は、石川三四郎氏によつて、メーデーの由來が說明され、堺、木下氏によつて全世界の無產階級の提携が說かれ、最後に社會主義の歌が高唱されて會を閉じたさのことである。

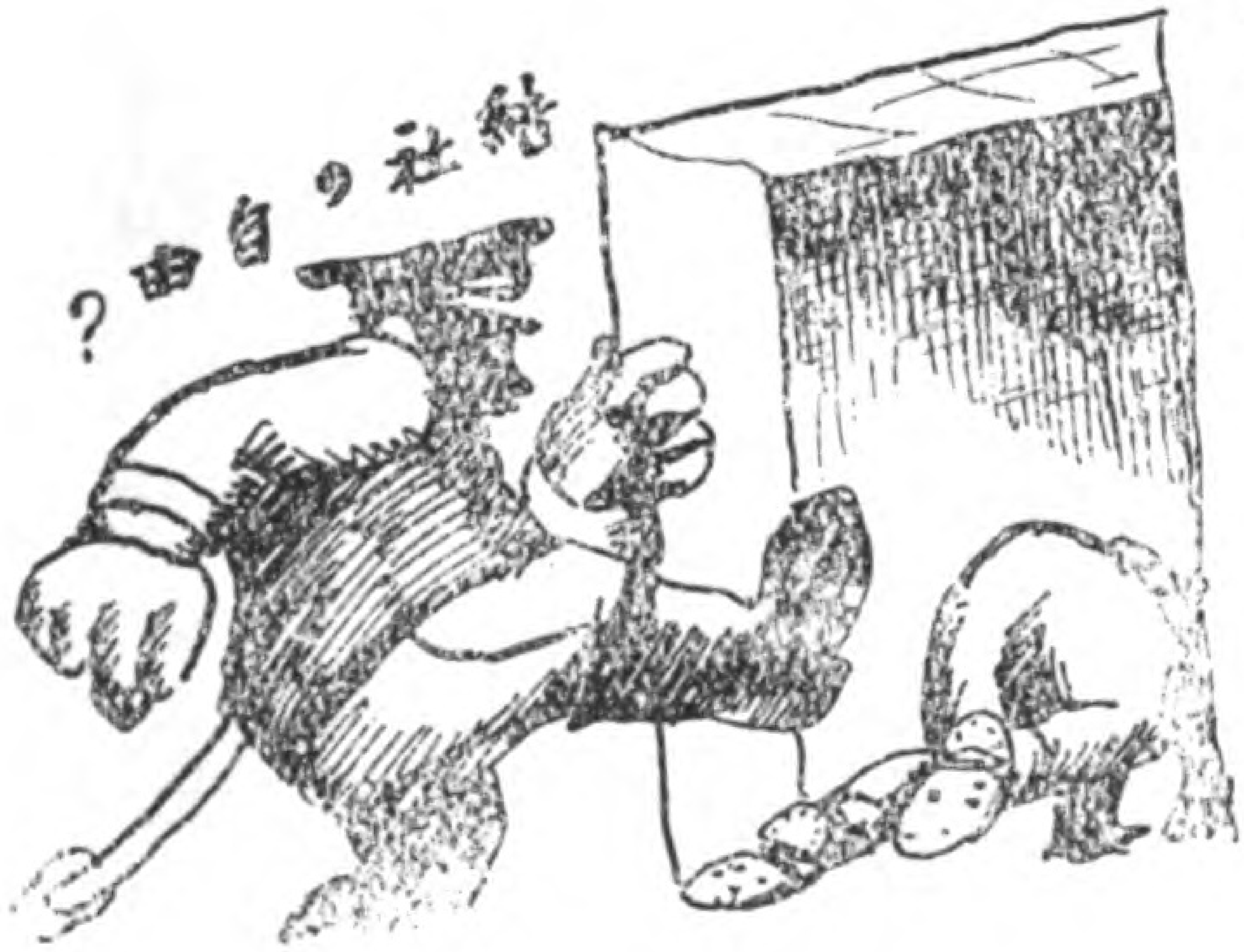
◇木下尙江氏の主筆させる、週刊新聞『直言』には、石川三四郎氏によつて、五月一日勞働祭の小史と意義が掲載されてゐる。

◇其後、數年間、メーデーらしい運動は一つもなく、『赤旗事件』『大逆事件』の爲殆んどこの日を記念とせる公の會合は催されずに終つた。

◇越へて大正九年、勞働組合に依つて初めて第一回のメーデーが上野兩大師前に行はれたのである。

◇日本に初めて、メーデーを報道したのは、明治卅年の『國民の友』紙上の巴里通信であつた。

―けいいち―



（講　話）

罷業權剝奪・爭議調停法の話

落　合　友　二

公益事業の從業者も罷業權をもつ

全日本の生產業にその原動力をおくる心臟となり、それから生產物を各產業部門に循環させる血管ともなつてゐるものは、電氣・瓦斯・水道等の供給事業、鐵道・電氣軌道・船舶による交通運輸の事業であつて、みなブルジョアや官僚のいはゆる「公益事業」だ。これらの產業は資本主義の發展と共に著しく發達し、したがつてその產業に從事する勞働者の數も近年頗る增加したと共に、その資本主義の發展につれて、これらの產業に從事する勞働者はいよいよますます營利產業の極めて組織された統制の下に搾取され來りつつある。この種の產業は、今すぐ次に明かにするとほり、全くの純營利事業であつて、どれもこれも獨占事業であるために、幾割かの配當か公債の利子償還にその全部の利益を提供してゐるのであるが、近來著しく組織的に「公益」といふ美名の下に、その從業者を壓迫し出して來たときに、それに應じて從業者の組合がますます强固となり强大になつてゆくものだから、產業權をにぎつてゐる支配階級は、どうかしてこの從業者の鬪爭力を弱め、罷業權を强壓し、あはよくば奪ふことによつて、爭議を取締らんと專念しだして來た。その運動は官僚の間にも近來著しく意識的に强くなつた。この種の、爭議鎭壓として考案されたのが本年四月九日に公布されていよいよ法律となつた爭議調停法である。

今日世の中におこなはれてゐる生產事業のうち、どれ一つとして、社會全體の「公益」に關し、われわれの日常生活に、直接關係しないものはない。交通勞働者が罷業行動に出でると、每日每日これらの勞働者の非常な勞働のためにこそ、平

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生交通が活用されてゐる恩惠を忘れて、厚顏無智にも、勃發した罷業を、公敵呼りするけれども、これが公敵呼りされるなら、おなじやうに、他のすべての生產業における罷業も公敵呼りをされねばならぬ筈だ。なぜならば、どの產業として社會公益のためになされてゐないものはないからだ。だが苟も生產業が社會のためにおこなはれてゐるかぎりは、どんな產業でも、例へば、紡績業でも、機械製造業でも、製鐵業でも、おなじやうに、公益に關する事業であることは、製鐵業が私人で經營されようと、國家で經營されようとにもそんなことには毫も關しない。だから、公益の點からいへば、その根本において、電氣、瓦斯を供給する事業であるのと、運輸交通に關する事業であるのと、その他の產業であるのと、ちつとも異るところはない。いづれもみなが公益に關する事業なのである。だから、根本からいへば、いはゆる「公益」事業ばかりが、特別に、ほかの產業と性質を異にして、公益を目的とする事業なのでは決してない。ただ、この種の事業は生產物を直接に消費者に供給することに關聯がある產業なのだから、商取引を媒介とせずに、直接に、消費者への關聯がつくられてある。そのために、事業の性質そのものを一般消費者の日常生活に密接關係ある公益事業の如く感ぜしめるだけのことである。

ところが、今日世の中におこなはれてゐる事業は何一つとして私人の利益の目的のために提供せられてゐないものはない。罷業勃發の際にはいつでも、純公益の立場にあるなどと自分を辯護する、この種の「公益事業」にあつてもそれに洩れないどころでない。すべてが獨占事業だから營利的色彩が强い。公共的事業、公益事業であつても、その事業の經營者が電燈會社、瓦斯會社であり、その事業の目的が營利であるかぎりは、その點では明白に該事業はやはり營利のため、株主の私益のために存してゐる私益事業である。それが現在の經濟組織の決定的な特徴なのである。かうして、これらの公益に關する一切の事業が私人の私益の目的のために經營されてゐるかぎりでは、その事業は純然たる營利事業なのであるから、これらの事業に從事する勞働者が資本家側に對して勞働力を商品として賣却することの關係の下に立つことは、他の營利事業の下に從事する勞働者がその資本家に對して對立する關係と全くかわりはない。それならば、この對立關係にしたがつて、一般の勞働者側には、團結權があたへられ、その

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

團體取引を强める强制方法として罷業權があたへられるのであるから、おなじやうに、この種の産業の從業者に對しても完全な團結權と罷業權とが保障されねばならぬわけなのだ。このやうに兩者には區別がないのであるから、いはゆる公益事業の從業者にかぎつて、その團結權と罷業權とを異別に取扱ひ、はては、罷業權を剝奪するといふそんな理窟はないわけだ。――それだのに、もし、この種の從業者に對しては官憲が他の爭議に對するとはちがつて特別に嚴重に取締つたり、法律が間接に罷業自體を取締つたり、市民が裏切り者、罷業破りに加擔助勢するやうなことがあつたら、これらは、從業者に對してどんな薄給、どんな過勞・不衛生にも屈服しろと强壓することとだ。そして、公益の美名の下に資本家側がおこなつてゐる搾取をば、折紙つけて正しいとする資本家側の走狗だ。

すると、市電の如きは、東京市、大阪市、京都市といふ公共團體が電軌、電燈事業を經營してゐる場合には、少し右の場合と異つてゐる、いやこれは純然たる公益事業だといふ人があるかも知れぬ。――資本家側及びその機關となつてゐる官僚の鼓吹する最後の武器はいつでもこれだが、しかし、その市電の豫算のうちに曝露してゐるカラクリは往年大正十三年の大阪市電の爭議のときに立證されたことだから、詳しく述べる必要もあるまい。ただ念のために、明かにして置けば市電は、なるほど、私人の營利會社の經營ではなくて、東京市、大阪市、京都市といふ公共團體の經營にかかるから、表面上はちつとも利益營利のための事業ではないやうにみえるけれども、約七百五十萬圓の收入のうちに六百二十萬圓も公債の利子とその償還のために支出せられてゐる事情は、事業の資質が全く公債所有者すなはち資本家の利益のために存してゐることを證明してゐる。それだから、三千の大阪市電の從業員はこれらの資本家に六百二十萬圓の金を儲けさせるために毎日働いてゐるものである。これでは、市電は純公益事業ではなくて純私益事業にほかならぬ。それでゐて、どんな薄給、過勞・不衛生にも屈服しろと强壓することは、明かに、公益の美名の下に、私益の搾取をほしいままに斷行することだ。しからば、それに對して、純公益事業と稱せられる實は純私益事業の從業員も亦その强固な團結と罷業とを以て對抗する必要が生じ、且つ、この對抗が法律上も正當視されねばならぬのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しかるに、今回、國家はこの種の事業に從事する勞働者の爭議に對して、强制的の調停制度をつくつて、しやにむに爭議を鎭壓し、しかも、爭議團の團體結合力を殺ぎ、よわめるために治警第十七條をそのまま調停法第十九條のなかに存置した。以下それを詳說するであらう。

ただ本文は次の話に限局する。――右のいはゆる公共、公益事業以外の事業において本法が適用されるのは、當事者たる勞資双方の請求ある場合だけにかぎられるから、公益事業以外の事業に關することはここで述べずに、公益事業についてだけ述べる。

適用の範圍と手續 當事者の請求がなくても强制的に開かれる調停は次の事業に關する。(1) 蒸氣、電氣その他の動力を使用する鐵道、軌道、又は船舶によつて公衆の需要に應ずる運輸事業。だから、乘合自動車は除かれる。(2) 郵便、電信、電話事業。(3) 水道、電氣又は瓦斯供給の事業。無論、炭山、油田業は除かれる。(4) (1)(2)(3)の事業に電氣を供給する事業で、この供給の休止が、(1)(2)(3)の事業の進行を著しく阻害するもの。(5) それから右のほかに、勅令で以て(未だ公布されてゐない)公衆の日常生活に直接關係ある事業と定めるもの。注意せよ。近く勅令は廣い範圍にわたつてこの事業を決定することを。(6) 陸軍海軍の直營に係る兵器艦船の製造修理の事業にして勅令を以て定めるもの。―特に(5)が重要となるわけだ。前述べたとほり、一體生產業であれば何一として公衆の日常生活に直接關係ないものはないのに、特に、直接關係があると楯にとつて罷業權を剝奪して置き、無理に調停させて了ふといふ魂膽は、はしなくもこの勅令にあらはれるたらう。

本法によると、爭議が勃發したとき、右の事業に對しては當事者の請求(特に勞働團體の請求)がなくても當事者の自由意思如何に拘らず、無理にも調停手續が開始せられる。當事者といふと勞資双方とも入るやうだが、爭議によつて損害を蒙るのは主として資本側だから、調停手續の好果を見込んで、强制調停を肯んずるものはむしろ資本側だ。では、强制調停によつて自由意思を蹂躙せられ、不利に導かれる第一步を踏むのはひとり勞働團體あるのみだ。だから、この强制調停制度は全く勞働團體の自由な意思を無視するのみならず、爭議の出ハナを挫くものだ。だから、ここに、罷業團は資本側及び官憲の策略に利用せられる第一步がつくられる。かう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して、行政官廳の專斷によつて調停が開始せられるから、調停開始に不服な勞働團體は自分側の調停委員を選定しないがちとならう。そのときは、調停開始の通知が來てから三日内にその委員の選定の屆出がないといふ理由で、勞働者側の委員をまで官廳が勝手に選んで勞働者側に對し押しつける。押しつけられた委員を勞働者側は自分達の爭議交渉の代表者としなくてはならぬ。勞働者側が自分の方から委員を選んでも、委員九名のうちに三名づつは勞資双方から、他の殘りの三名は双方から、直接利害關係を有しない、いはゆる中立者を選ぶことになつてゐる。けれども、もし中立者の選定が四日内にできなければ（できないのがあたり前であるし、恐らく將來も多くの場合にできぬであらう）、そのときには、これも亦官廳が勝手にその中立委員をも選定して囑託する。囑託された委員は正當の理由なくしては辭任ができぬし、罷業團は調停委員會でキャアスティング・ヴォートをにぎる三名の、いはゆる中立委員を押しつけられてしまふ。でも、勞資戰にあたつて、果して中立があるか。況や、官廳が選んで押しつけた委員が果して中立的性質をもつか。恐らくは、官廳は、商業會議所の委員や地方の顔役を中立的有力者だと考へてゐるらしいが、こんな者ばかりが出ばつて來ては、その中立の價値は、せいぜい會社側、資本側の配當を高くし、配當の減少に同情する位が關の山であらう。消費者たる第三者のために公平に妥協させるとかいふ目さきだけの學者、社會局官吏、經驗家も中立委員に選ばれようが、これらの者は複雜した勞働條件に皆目無智であるし、生活苦に對する一片の共鳴もない。――罷業團にとつての不利の第二歩がここに醸される。さて、これで調停委員會が開かれるおよそ委員會で議長の役目は重大だが、その選擧は多數決だからまづまづその中立委員(?)がなることにならう。この關係でも中立議長が無意識のうちに資本側の利益のために議事をすすめる。これで勞働側は全く敵の重圍のなかに追ひつめられ[illegible]戰することの段取となる。しかし、それでも組合の實勢力はそのまま議事に反映する。

議事は公開しないことになつてゐるけれども、行政官廳の官吏だけは委員會の承認を得た上、監督ズラをして立合臨席する。勞働者の委員は調停に必要なき限ぎり資本側の代表者その他の利害關係人、又は參考人に對し、その出席を求め、又は、會社の財產目錄、收支決算表等の說明書類の提示を求めることができるから、この機を逃さず、會社內部の財政や

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

り繰り、搾取率を考究することができる。ただし、委員はその内容を秘密にする義務を負はせられ、それにそむき、會社の内情を廣く組合員に知らせると、秘密漏洩のかどで二百圓以下の罰金に處せられる。だが、ここで勞働側委員は最も冷靜に會社の説明書類の提出を求め且つその數字の裏から會社經營のカラクリを突擊すれば可成の收穫をおさめることができる。

罷業の勸誘が禁ぜられた

委員會開始の通知が官廳から來たとき以後には、爭議に關係のない者は、調停手續の終了まで、爭議に關係ある當事者に對して罷業を勸誘することが禁ぜられてゐる。違反者は三月以下の禁錮又は二百圓以下の罰金に處せられる。

爭議に關係がない者といふのは、勃發してゐる特定の勞働爭議に關係ない者を指す。反對にいへば、爭議に關係ある者といふのは、當該の爭議の勃發してゐる事業に傭れてゐる勞働者（勞働者の解雇について紛議が起つたのならその解雇せられた勞働者をも含む）と、當該爭議中の勞働者の加盟してゐる組合の幹部（役員）、事務員とだけだから、苟も、これらの者でない、これ以外の者はみな爭議に關係のない者だ。これが議會で明かにし、正文になつたことがらだ。例をあげていへば、京成電車の爭議の場合に、おなじく自治會に屬する市電の從業員が自治會員のために應援に行つて、京成電車の從業員に對して、罷業を激勵督勵し、同情演説、ビラ撒きをすると當該の京成電車爭議に關係のない者がなした應援だといふ理由の下に罰を喰ふ。このやうに、同一の組合に加入してゐる從業員であつても、爭議中の事業に關係のない從業者が應援に行くと、みら縛られてしまふ。まして、他組合の組合員がその爭議に應援激勵して、罷業を勸誘するとこの亂暴な法律でやられる。勸誘の相手方となる爭議に關係ある當事者といふのは、當該の爭議の直接的當事者となつてゐる勞働者の團體、團體員をいふ。處罰せられる行爲は、罷業怠業（勞働者の集團をして勞働爭議に關し、勞務を中止し、作業の進行を阻害し、雇傭關係を破毀）を勸誘（例の誘惑煽動）ばかりではない。裏切り者をして雇傭繼續の申込を拒絶するやうに勸誘するも亦さうだ。（だから、臨時雇入職工の雇入申込を妨害することはこの罪に入らぬ）。

「誘惑煽動」といふのは、現在の裁判所のやり來りでは、その方法程度について特に制限を付さぬ、あらゆる勸誘説得を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

含む。

詐言甘言を用ゐなくても、どんな方法でもたとひ本當のことをいつて勸誘說得しても罷業怠業等を勸誘說得することそのことが罰になるといふほど廣いものだ。この亂暴極る裁判所の判決のうちで次の大審院判決はその無茶な亂暴で有名だ「同盟罷業に參加すれば、爭議有利に解決して相互の利益だから缺勤して呉れ」と告げても、誘惑になるといふことは、大正十三年大阪市電爭議の犧牲者が、嘗めた暴逆な判決だ。單なる同情督勵の演說も、煽動だとせられ、勸誘によつて說得された事實の有無を問はぬのも亦驚くべき暴壓的の判例だ。判例がすでにさうなのだから、以下の下級裁判所、檢事局、警察官憲の實際的取扱ひは推して知るべきである。ここにいたつて、公益事業における從業員の罷業權は完全に剝奪されることになつたことは明かである。なぜといへば、罷業は本質上多數組合勞働者の協同的結束行動なのだから、當該爭議中の事業に屬しない組合員の應援援助によつてのみ徹底的におこなはれるべきに拘らず、本法はこれを嚴禁したからである。思ひめぐらすと、治警第十七條のあつた時代に、當局は公共事業に關しない事業に對してはその適用を手控へるといふ內訓を發したことがある。この內訓の裏面には「公共事業に關するかぎり手きびしく適用する」ことを含んでゐたのだが、この暴壓的攻勢が、本法のなかに露骨に規定せられ、露骨に公共事業の從業員の罷業權を奪ひ、それでも屈服しない者があればその者を縛り上げようとするのである。

無產政黨は一日も早くこの暴壓法の撤廢を鬪爭題目に入れて公共事業從業者のために努力し戰ふことが必要である。

調停の結果の公表

調停は開會の日から十五日以內に結了することを要することになつてゐて、手續が結了されたときは調停委員會は次の報告を公表する。

(1) 爭議が解決されたときにはその旨の報告。(2) 解決するにいたらなかつたときは、その報告に委員會の決議（多數決）せる爭議調停案及びこれに關する少數意見を表示して公表する。公表するだけだから無論、調停は仲裁でもなければそれに拘束力も何もない。勞働者側が不服であれば更に罷業をつづけるべきだ。だが、公表によつて輿論の公平な(?)判斷に訴ようといふのであるから、ここに反間苦肉の計略がめぐらされてゐる。

ところで、いはゆる公共事業に關する爭議における輿論位

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本側、傭主、官憲側の宣傳策略にうまく乗ぜられるものはない。爭議中には色々な流言蜚言がおこる。それを最もうまく利用して宣傳するのがいつも資本側、警察官憲、市の當局者だ。例へば、東京市電、大阪市電の罷業のあつたとき、市當局は「從業員は市民を敵として戰ふと宣言したから怪しからぬ」と宣傳し、ブルジョア新聞もその提燈をもつ、罷業破りの義勇隊として、在郷軍人、反動學生が出動したといへば市民は市民の味方が出現したやうによろこぶ。こんな雰圍氣に調停談判破裂の飛報がとび調停案が公表される。輿論は會社の發表する數字の裏を考へる余裕もなく批評にとりかかる一方では、罷業團は亂暴な檢擧や檢束と戰ひ又、同志を糾合するのに骨を折りながら他方に、當局の提出する數字上の計算を聰明に冷靜に看破せねばならぬ。その結果、調停不調にをはつた場合に勞働側が平生勞働の疲勞率、病氣率、薄給、勞働條件のすべてを精細に公表しても、賃金制、勤務制は頗る複雜であつて面倒であるから、これを數字で示しても、丁寧に説明してもなかなか明瞭にブルジョア市民を納得させるわけにはいかぬ。これが公共事業の從事者のやりにくいところである。

それ故に、調停の結果の公表は、勞働者の意見發表の機關宣傳の機關、罷業破り撲滅策から勞働條件の精細な數字表を以て十分の説明を試みるだけの常設機關にいたるまで、それらの設備が整はねば、結局は、資本側の伏兵突撃によつて極めて不利な事情に導かれる虞がある。だから、勞働組合は常時にその調査機關、報道機關を自己の手に掌握管理利用することに努める必要がある。

しかし、これは必しもここの強制調停にのみかぎつたことではない。無産階級内における鬪爭的組織體として必ず努力し、戰ひとらねばならぬことであるに相違ない。

猿の子と神の子

「新教會」の牧師ウエデンスキイ曰く「諸君は云ふ、諸君は猿の子孫だと、然るに我々は云ふ、我々は神の子であるさ。宜しいか。これで諸君と我々とが、お互にこれ〴〵の先祖がハッキリ證明されてゐるわけだ。」

教育部人民委員ルナチヤルスキイ曰く「宜しい。然し私を猿さ並べて見てくれ。猿から私までの間に恐ろしい進歩のあることを承認しないでは居られないだらう。所で諸君はどうだ。諸君は諸君自身を神の姿になぞらへて居るが、その諸君自身を神樣のそばに置いて見たまへ、諸君は如何にも見すぼらしい、ほんの幽かにしか神樣に似てゐない者だといふ事が明白になるだらう。」

ブックレビュウ

勞働者經濟學

マルク・スター原著
伊藤藤次郎譯

原著者の序によると、この本は「素人にも讀易い樣に、日々の實際の事件と問題とに關聯せしめつつ、マルクス經濟學の主なる結論を說明したもの」だそうである。ところで、内容を讀んでみると、經濟學上の根本概念、例へば、價値、資本、利潤、賃銀といふやうなものについては、大體マルクスに依り、そこへ、小切手、爲替手形などの金融問題やトラストなどの企業合同の問題その他についての普通の說明をつけ加へたものである。ブルジョア經濟學說明も大分取り入れられてある。

一と口にいふと、あまり感心した本でない。まづ、マルクスに依る說明にも間違がある。例をあげると、マルクス經濟學においては商品の「使用價値」と「價値」と、それから價値の「現象形態」としての「交換價値」と、この三つのものをはつきり區別することは極く大切なことである。これを混合するために、いろいろの混雜誤解が起つてくる。それだのに、この本の第二章「商品とその價値」では「價値」と「交換價値」とが一緒くたにされてゐる。これなどは困つたものだ。

それから、ブルジョア經濟學を引合に出した場合に、その批評が不充分である。一體、ブルジョア經濟を持出さなければいいが、一旦持出した以上は、相當に行屆いた、誰れが讀んでも成程と合點するだけの批評を考へて置かないと、却つて危險である。この本のなかで「限界用學說」――マルクス經濟學に對抗するブルジョア經濟理論の一つ――を說へたところなどは明かにその危險を冒したのである。

これと關聯するが、現在行はれてゐる經濟事實に對して明確な無產階級的な立場からの批評がないこともいけない。例へば、いはゆる科學的經營法として「テイラー・システム」といふのがあるが、それを說明して置きながら（第九章）、この方法がいかに現代においては、ブルジョアの狡猾な搾取方法であるかを充分に曝露してないことなどは、その甚しいものである。

さらに、全體についていふと、說明が表面的である。あまりに、日常眼前の事實だけに囚はれすぎてゐる。それらの事實から突込んで、資本主義そのものゝ病弊と矛盾を摘出してない。我々が經濟學をやるのは經濟上の事實を單に知るためではない。

勿論、正確な知識をもつことは必要ではあるが、それだけで停つてゐてはならない資本主義そのものに、明白な、辛辣な批評を與へなければならない。その點において、この本は甚しく物足らない。

最後に譯文についていふと、まづ一と通りの出來榮えである。大きな間違はないがちよつとした誤譯・拙い譯はないでけないそれに、も少し解り易く譯くしたらと思ふ。

× × × ×

「ソビエット聯邦金屬勞働組合の歷史と組織」

產業勞働調查所譯

勞働組合が無產階級解放運動の中心であるといふことは、今更、云ふまでもない。從つて組合組織をいかにすべきか、樣々な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る闘争に當つていかに處すべきかは、いづれの時にも、最も大切な事柄である。と同時に、現在我國において、未組織大衆の組織問題が、政黨問題、總聯合の問題と並んで大きな問題となつてゐるとき、このことは、一層の重要さを加へる。そして、これらの問題のためには、我々は、我が國に於けるいろいろな事情に對する調査を必要とすることは勿論であるが、一方、外國において實際に爲されたことの報告に接するのは、參考として、非常に有意義である。その意味からいつて、この、産業調査所のパンフレットは極めてよいものである。

これは、題名を見てもわかるやうに、ソビエットの金屬勞働組合の歷史と組織とを述べたのである。

歷史としては、組合の發生から六月革命に至るまでを極く簡單に傳へ、それ以後、三月革命、六月革命を經て新經濟政策に至るまでを項目を分けて述べたものである。簡單ではあるが要領を得てゐる。殊に、この組合がいかに闘争してきたかをよく傳へてゐるのは、我々にとつて興味もあれば、また有益である。

第二の組織のところでは、加入制度、組合員數の變動、組合の財政などの問題を取扱つてゐる。

そして、相當に多く數字を擧げてゐることは、この書を、前にいつたやうな參考資料として、價値あらしめるものである。

小册子ではあるが、讀んで置くべきものとして、讀者に勧めて置かうと思ふ。

（成瀬光雄）

勞働組合讀本

荒畑寒村著

組合員と、未だ組織の一員に加はつてゐない人々の爲めに解り易く、勞働組合の一般的智識を與へる小册子の必要は、恐らく運動者の誰れもが感じてゐたところであつたらう。

荒畑寒村氏のこの近著は、まさに右の期待に投じたものである。

題材の選び方、配列の整備せることと、ともに立派なものである。第一章で、組合の起源の說明は痩れたからただの勞働者諸君にはちと堅すぎはしまいか。第二章も、も少し砕いて欲しかつた。第三章に入つて勞働組合の定義がウエッブ夫妻の說がそのまゝ引用されてゐる。

ウノビエフの言葉をかりて言へば、「彼の定義は一定の發達階梯にある英國のトレード・ユニオニストの經驗を綜合してあるに過ぎない……」ウエブ夫妻の立場が如何なるものであるかは、今此處で云ふまでもないが、聊か物足りなく感ずる。

組合の形態の章に産業的組合以上に進んだ從業人組合主義の書かれてゐるなど新しい第四章の組織論は實に平易と懇切をつくしたものである。殊に工場單位の組合組織を強調し民主的中央集權組織の說明は實に手にいつたものである。

勞働組合の職分と方法の章に政治運動の必要が内外の實例を擧げて述べられてゐる然しながら、今日の勞働大衆の間で、政黨と組合との分類が明にされてゐない時、是非ともこの點の一層の解說が欲しかつた。

全體としてこの小册子を見るに、僅々九十頁、六章にて一般の事項が平易にとり扱れてゐることは何といつても成功である。

（槇圭一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯局より

◇一日のメーデーと、五日トリエルに生れたマルクスを紀念するため、それにちなんだ記事で、而も大衆の期待の中心になつてゐる第三號を編輯することの出來たのは同人の大いに喜びとする所だ。

◇大山氏の『所謂現實主義の唯物辯證法的解釋』は戰線に立つ闘志の必讀すべき大論文で、保養地から特に寄せられたものである。同じく病床にある青戸氏の唯物辯證法的斷想も教材になる尊い文獻と思ふ。

◇かつて我々の注意を集めた共同印刷爭議の眞相、先般の農民組合脱退の本質、又刻下の重大問題たる組合總聯合の問題等に對する三宅、高田、坪井諸氏の眞摯な論旨は、同志諸君の充分な滿足を買ふことゝ信ずる

◇組合評議會大會ではげしい對論を呼び起した婦人部設置の問題に對する山川均氏の力作。

◇獄中より書き送つてそれがために方々に爭議を呼び起したと云ふ有名なレニンの「勞働祭」、守田有秋氏の中歐のメーデー等は熟讀に値すると思ふ。

『大衆小話』を募る

『大衆』が眞に大衆のものたらんがための一の重要な要件は、全體が小むづかしくない親しみ難く、讀にくゝなることを避け、あらゆる社會事象を、吾等の立場から究明する、直覺的にピンと來る記事を必要とする次の樣な規定で、大衆小話を一般から募る。

一、題材と内容は勞働者農民の題にピンと來る樣な生きたもの或は風刺したもの。

一、二百字原稿二枚以内。

一、採否は、編輯者に一任せられたい。

大衆小話部

◇たゞ遺憾に思ふのは、高田氏と青戸氏の論稿の一部を割愛しなければならなかつたことである。これはしかし同志諸君の期待の内に來月號には必らず現はれるであらう。

◇「大衆」の特徴の一つである資料は今月筆者の病氣で急に間に合はなくなつた。然し來月號には鈴木氏の全力を傾けた「貴族院の財閥關係」、對馬氏の「耕作權」等をもつてそれを補ふ手筈になつてゐる。

◇來月號は總聯合の問題で紙面をかざるはずである。刻下の無産階級にとつて最も重要な問題だから、從つて日常闘爭にたづさはつてる諸君の希望を充分反影せしめたいから、原稿を寄せられたい。

◇大衆編輯に色々な批評や御配慮を下さつた諸君に謝意を表したい。諸君の御意見は出來るだけ即刻實行に移したい用意を持つてゐる。今月號も今迄とは異つて、出來るだけくだき、紙面を明るく讀みよくするに努めた。

（太川生）

定價
□壹部參拾錢（送料壹錢）
□半年壹圓七拾錢（稅共）
□一ヶ年參圓十錢（稅共）

廣告料
□一等八拾圓 □二等五拾圓
□三等參拾圓
（但し、半頁はお斷り）

大正十五年四月廿八日印刷納本
大正十五年五月一日發行
編輯發行兼印刷人 黑田壽男
東京市芝區新櫻田町六
發行所 大衆社
（電話銀座三一九一番 振替東京一六二三八番）

大賣捌
東京堂 北隆館
大東館 東海堂

石濱知行著

柳瀨正夢裝幀

最新刊

闘争の跡を訪ねて

定價 壹圓八拾錢
送料十五錢
四六判
三百五十頁
挿入寫眞十三葉

一九〇〇年代の社會變動の劇しい日本に人となつた筆者は、社會のビビツドな動きに對して鋭敏なる洞察欲を持つ。本書は筆者が二年有半に亘る滯歐中、勉學の餘暇を利用して、この洞察欲を滿足さすべく歐洲社會の實際の動き工合を見聞したり、古本屋の埃にまみれてそれらに關する珍らしい資料を探したりした結果を筆に委せて如實に綴つたものである。

今日世に行はるゝ歐洲見聞記はまことに文字通り汗牛充棟も啻ならぬ程である。たゞ觀察の重點を專ら社會問題に置き、それに配するに珍らしき資料を以てしたる點に於いて、この「闘争の跡を訪ねて」一卷は、他書の追隨を許さざるレーゾン・デートルを主張する權利を所有する。

内容目次

一、社會民主黨の「アルヒーフ」 二、ノイエ・ヴエルトの演説會 三、カールとローザの夕 四、クロポトキンの手紙 五 アプトン・シンクレアの自叙傳 六、ゲーテと社會主義 七、解放上途の犠牲 八、ラッサールの最後 九、新に發見されたバクーニンの書簡 一〇、地震前後 一一、ヘルツエンの「ツアー」に與ふるの書 一二、ジョーレスの撃たれたるクロアサンの酒場 一三、ブランキの墓、他三篇 一四、ダニューブ河畔の追憶 一五、輿論の獨占 一六、社會と學論 一七、ハイゲート墓畔に立つ 一八、勞農ロシア最近の經濟狀態 一九、勞働組合の國際化 二〇 資本主義展開の一面 【附錄】著者所藏社會運動家の筆蹟及び書簡目錄……

發兌 東京神田西紅梅町 同人社 振替東京二七〇六五 電話大手五五八五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會問題關係出版書目

著譯者	書名	定價	送料
ゾムバルト著 池田龍蔵譯	社會主義及社會運動	三・〇〇	・一七
リュイス著 高畠素之譯	社會主義社會學	二・五〇	・一〇
山川均著	社會主義の立場から	二・〇〇	・一〇
クロポトキン著 中山啓譯	クロポトキンの經濟學説	三・〇〇	・一七
ラッセル著 前田河廣一郎譯	ボルシエビーキの理論と實際	一・八〇	・一〇
尾崎士郎著	社會主義發達史論	二・五〇	・一〇
リブクネヒト著 新明正道譯	軍國主義及非軍國主義	二・〇〇	・一〇
カーカップ著 内山賢次譯	社會主義讀本	・七〇	・〇二
島田保太郎著	唯物史觀説	・七〇	・〇四
マーシー著 島田保太郎譯	マルクス經濟學入門	・五〇	・〇二
リブクネヒト著 村上正雄譯	マルクスの逸話	一・三〇	・〇六
圓谷弘著	我國資本家階級の發達	二・〇〇	・〇八
ベーベル著 村上正雄譯	社會主義と婦人(過去)	・九〇	・〇四
シュモラー著 木岡永次郎譯	重商主義制度と其歴史的意義	一・三〇	・〇八
グリンウッド著 大日方・西澤譯	英國勞働法解説	二・五〇	・一〇
淺野研眞編	勞働年表(大正十五年版)	・一〇	・〇二
淺野研眞著	勞働學校研究	一・三〇	・〇八

東京芝區三田一ノ二〇
振替東京四一八一〇番
發行 三田書房

無産社パンフレット

堺利彦　社會主義大意……一〇
マルクス　勞働と資本……一五
パンネコック　社會主義と進化論……一〇
マルクス　利潤の出處……一〇

◇新刊◇

マルクス著　堺利彦譯　唯物史觀要約　資本蓄積の史的傾向（獨英和對照譯）……三〇
山川菊榮著　無産政黨と婦人……（近刊）……一〇

堺利彦　社會主義學說大要……二〇
マルクス　ゴタ綱領批評……一〇
堺利彦　パリ・コンミユン……一〇
ルクセンブルク　ロザの手紙（獄中消息）……一〇

この他社會問題に關する書籍は總て郵税なしで取次します。最近は洋書の取次を初めました。圖書目錄「名著だより」は無代進呈（但し郵券二錢封入のこと）代金引換は一切御斷りします。

東京市麴町八ノ二〇
振替東京二四六二六
無産社

大阪勞働學校パンフレット

勞働學校に通へない人にパンフレット教育!!!

井上良二編　勞働者必携の字引　價 一〇　送料 〇三
中川重吉著　勞働組合早わかり　〃 一〇　〃 〇二
阪本勝著　一錢銅貨物語　〃 一〇　〃 〇二
村島歸之著　勞働問題早わかり　近刊
松澤兼人著　經濟學十講　近刊

多數註文は割引す紹介あれ、倘當校で選定したる各種パンフレットの取次す、目錄入用は郵券二錢要す。

大阪市此花區吉野町一ノ三六
大阪勞働學校出版部
振替口座大阪七四三三六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上西發行 パンフレット

山川均 ブルジョア政治勢力と無產階級の政治……（拾五錢）

山川菊榮 リープクネヒトとルクセンブルグ……（三十錢）

山川均 タンクノ水……（拾錢）

北原龍雄 常識の社會主義……（五十錢）

新刊

社會主義の婦人觀……堺、山川、一〇

人の柱……山川均、一〇

メーデー……山川菊榮、一〇

今後益々、新刊を出版し微力を運動に盡したいと思ひます。依つて、團體にて多數申込の場合は割引いたします。關東地方は全部東京麹町八ノ二〇無產社にて取扱ふことになりましたから、宜しく御利用下さい。

神戸市湊川町二ノ一六一

上西書店

振替大阪七二九四〇

無產階級講座

第一講 ブハーリン原著 川口淸郎譯述 無產階級の社會學……六〇

內容 序文——第一章因果說明と目的論——第二章決定論と非決定論——第三章辯證法的唯物論——第四章社會——第五章社會と自然界間の均衡——第六章社會的均衡と其の再生——第七章階級及階級鬪爭。

（一）系統的な講座

（二）平易な講座

（三）明確な講座

（四）安價な講座

本講座は此の様なモットーで今後十講に渡つて每月刊行して行くつもりです。勞働學校の教材にもなり、個人の勉强にも充分役立つやうにします。第一講は有名なブハーリン原著「史的唯物論の理論」の抄譯です。原型は充分保たれてゐるし、譯文の明快は又讀者を知らず〳〵の內に最後の頁まで導くでしよう。

第二講 無產階級の經濟學

第三講 最後の段階帝國主義論

（以下近刊 定價未定）

東京市外下目黑二四卅

振替東京　番

大潮閣

ボグダノフ著
麻生義譯

無產階級藝術論

（社會思想・文藝叢書第一編）

定價八十錢 送料六錢

新刊

本書の價値は無產階級藝術の如何なるものなるかを闡明すると共に、ブルジョア藝術に對する態度を明確に示したもので、今や全國の高等學校及び各大學の社會文藝研究會のテキストに使用されんとしてゐる。譯者は來朝のピリニャーク氏を介して原著者に一本を献じた。

内容

▼無產階級詩論 ▼藝術繼承論
▼無產階級藝術批判
（附錄）革命演劇論……ウイットフォルゲル
ボグダノフと其藝術に就て……新居格

ルナチャルスキイ著
馬場哲哉譯

實證美學の基礎

（社會思想・文藝叢書第二編）

定價八十錢 送料六錢

新刊

原著者はロシヤの現文部人民委員として有名なる文學者であり、革命家であり、政治家である。本書は古い美學を根抵より覆へして、新しい學說を樹立せんとしたもので、それが無產階級の立場から論ぜられたるはいふ迄もない。新藝術、新美學を知らんとする人は是非一讀を要する。

内容

一、生活と理想 二、美學とは何ぞや
三、美とは何ぞや
四、最も重要なる美の種類
五、藝術

東京市牛込區矢來町三番地 人文會出版部 振替東京六九四〇八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

河上肇 *編纂

マルキシズム叢書

マルキシズム研究者の必携文庫

本叢書は、吾々がマルキシズムの研究のため缺ぐべからざる、少くとも有益なる文献と認むるものを、順次收めてゆくための、一つの文庫である。各冊の頁數、從つてその裝釘は、全く不同である。現に第一篇に收めた『レーニンの辯證法』は百頁餘の小冊子であり、第二篇に收めた『マルクスの哲學の貧困』は四百頁餘の著作であり、前者の裝釘は假綴であり、後者のそれはクロース製である。たゞ吾々の期するところは、その外部的顯現の多樣性に拘らず、その內容において本質的の統一性を保たしめんことである。なほ刊行の期日も未定であり、その冊數も未知である。けれども未開の曠野は遠く前途にひろがる。吾々は吾々の力の竭くる日に至るまで、最善を致して此の叢書の冊數を累積して行くであらう。

第一冊
河上肇譯（デボーリン原著）
レーニンの辯證法
假綴百卅頁
定價八拾五錢
送料拾五錢

第二冊
淺野晃譯（マルクス原著）
哲學の貧困
上製函入四三〇頁
定價二圓九拾錢
送料廿七錢

第三冊
河上肇著
階級鬪爭の必然性とその必然的轉化
假綴九十頁
定價五拾錢
送料拾八錢

―近刊―

第四冊
林要、河野密共譯
反デューリング論（エンゲルス原著）

第五冊
河野密譯
神聖家族（マルクス エンゲルス共著）

發兌　弘文堂書房
京都市丸太町寺町東
振替大阪一七〇五番
東京神田區淡路町二

大正十五年四月二十八日印刷納本
大正十五年五月一日發行
大正十五年五月二十四日第三種郵便物認可

（定價三十錢）